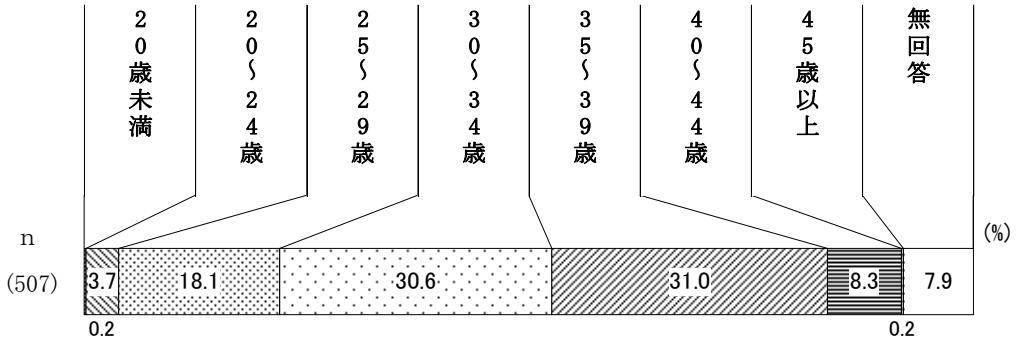
# ＩＩ　妊娠・出産・育児調査結果

## １．基本属性

### （１）年齢

Ｆ１　平成２４年３月３１日現在の年齢

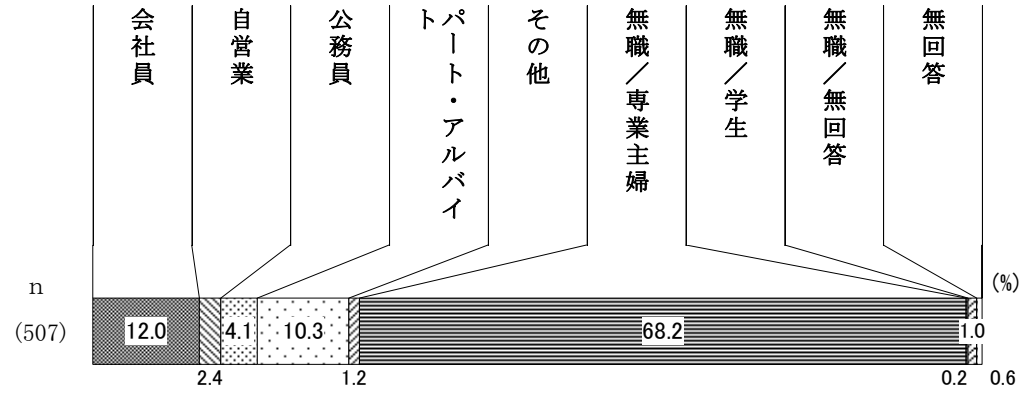
〈 年齢 〉




### （２）職業

Ｆ２　現在のお仕事は何ですか。なお「６」を選んだ方はａ，ｂのいずれかを選んでください。
（現在、育児休業中も含む）

〈 職業 〉



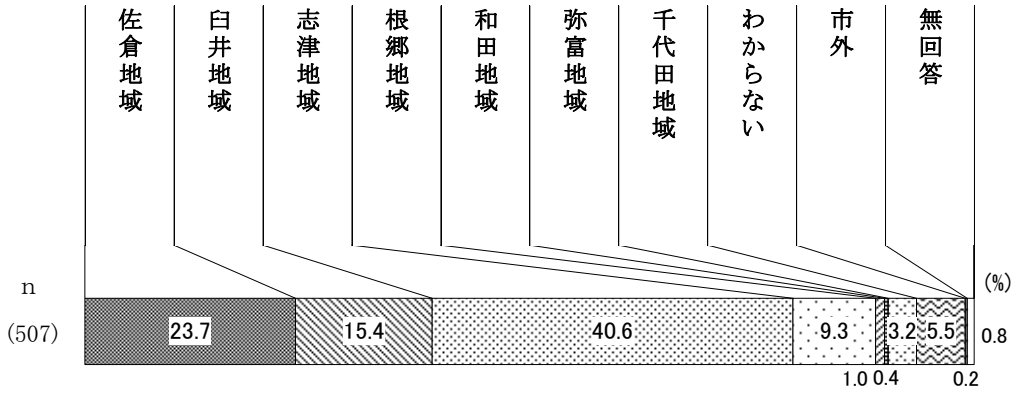
# ２．家族、地域とのかかわり

## （１）居住地域

**問１　住んでいるところはどこですか。**

居住地域は、「志津地域」が40.6％で最も高く、以下「佐倉地域」（23.7％）、「臼井地域」（15.4％）の順で続いている。

〈 居住地域 〉

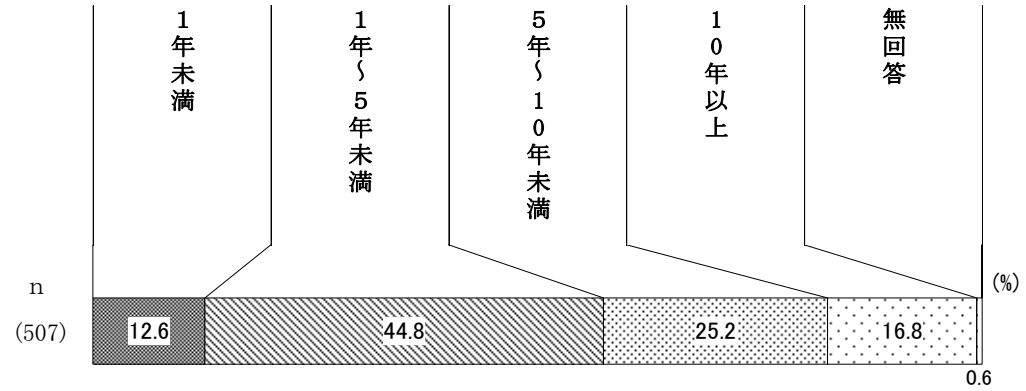



## （２）居住年数

**問２　居住年数はどのくらいですか。**

居住年数は、「１年～５年未満」が44.8％で最も高く、次いで「５年～10年未満」（25.2％）となっている。

〈 居住年数 〉



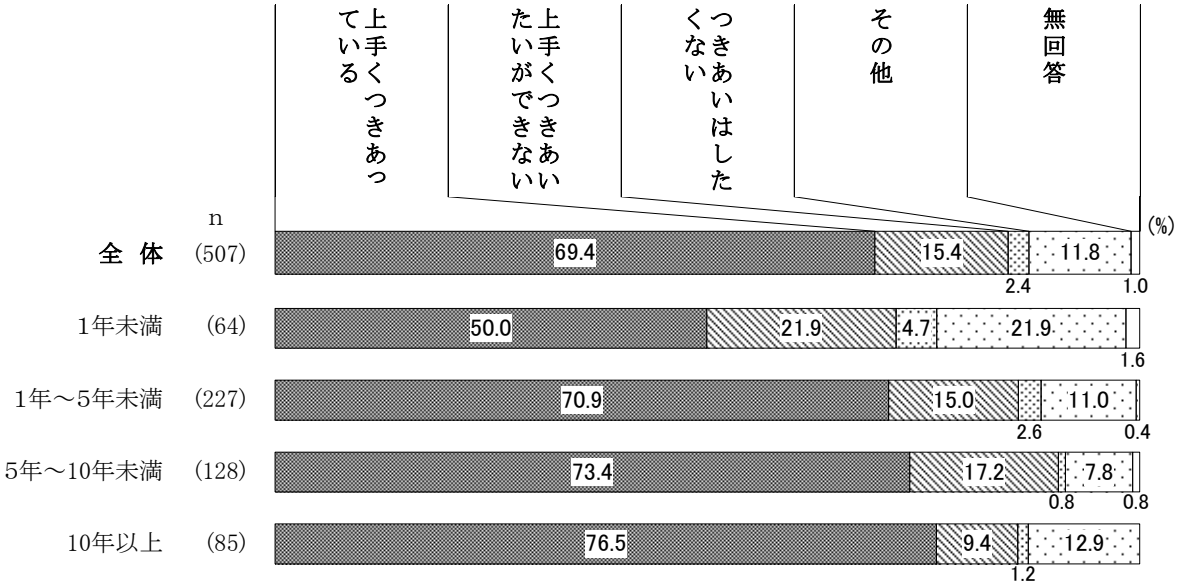
## （３）近所づきあい

**問３　あなたは日頃の近所づきあいについてどのように考えていますか。**

近所づきあいについては、「上手くつきあっている」が69.4％で最も高くなっている。一方、「上手くつきあいたいができない」は15.4％となっている。

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「上手くつきあっている」が高くなっている。

〈 居住年数／近所づきあい 〉

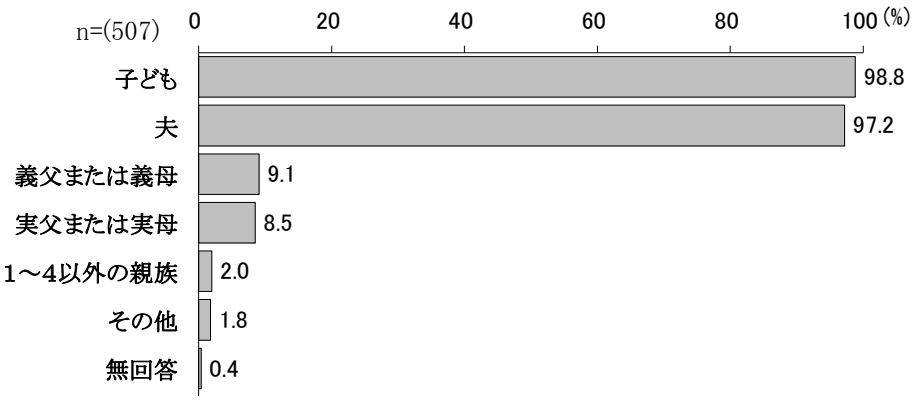



## （４）家族構成

**問４　あなたの家族構成はどのようになっていますか。続柄は、お母さん自身からみたものとします。あてはまる選択肢に、すべて○をつけてください。**

同居している家族としては、「子ども」（98.8％）と「夫」（97.2％）で、「義父または義母」と同居が9.1％、「実父または実母」との同居が8.5％となっている。

〈 家族構成 〉

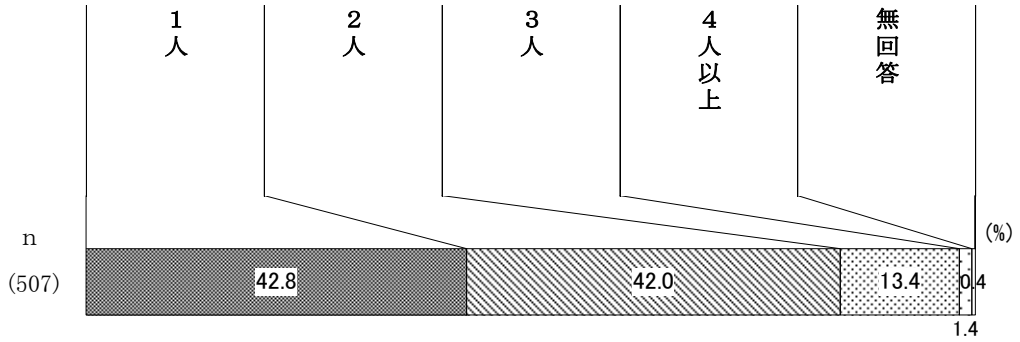


## （５）子ども

### 問５　お子さんは何人いますか。

子どもの人数は「１人」（42.8%）が最も多く、次いで「２人」（42.0%）となっている。

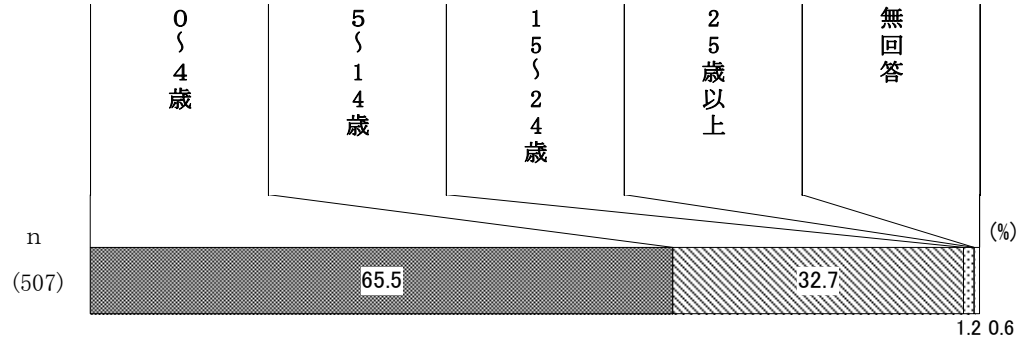
〈 子どもの人数 〉




### 問５－１　お子さんの年齢を高い順にお書きください。（第１子）

第１子の年齢は「０～４歳」が65.5%と最も高くなっている。

〈 子どもの年齢（第１子） 〉



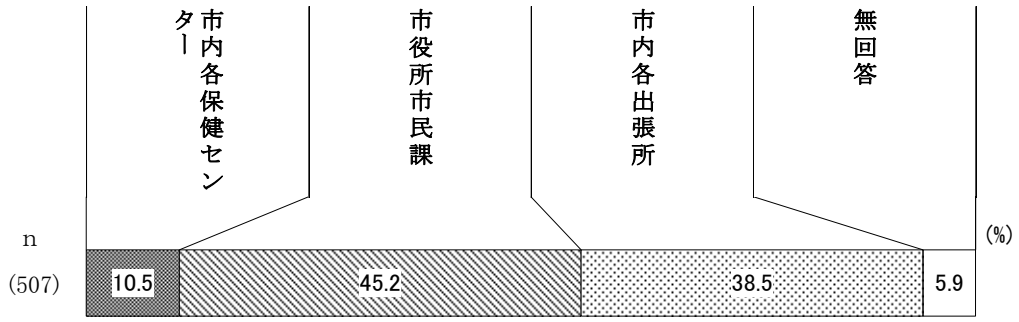
## ３．第１子を妊娠したときの状況

### （１）妊娠

**問１　妊娠届出書は、どこで提出しましたか。**

妊娠届出書の提出先としては、「市役所市民課」が45.2％で最も高く、次いで「市内各出張所」（38.5％）となっている。

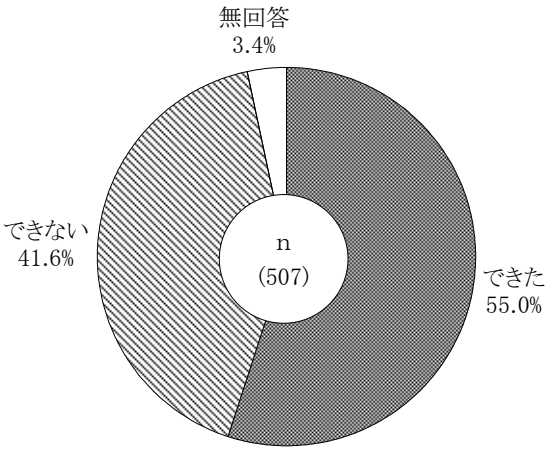
〈 妊娠届出書提出先 〉




**問２　妊娠届出時、妊娠・出産について相談することはできましたか。**

妊娠届出時に妊娠・出産について相談「できた」は55.0％、「できない」は41.6％となっている。

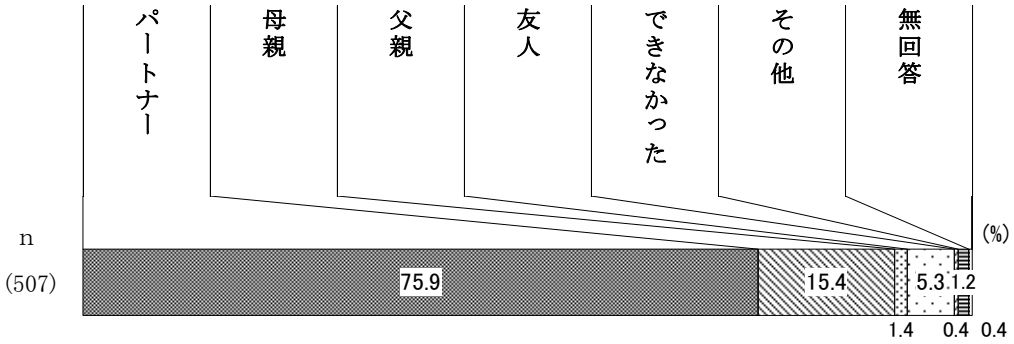
〈 妊娠届出時に相談できたか 〉



## 問３　妊娠がわかった時に、誰かに相談できましたか。

妊娠がわかったときの相談相手としては、「パートナー」が75.9％で最も高く、次いで「母親」(15.4％)となっている。

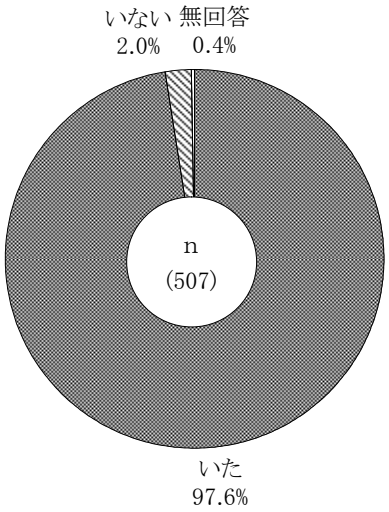
〈 妊娠がわかったときの相談相手 〉




## 問４　妊娠中、相談できる人はいましたか。

妊娠中の相談相手が「いた」が97.6％となっている。

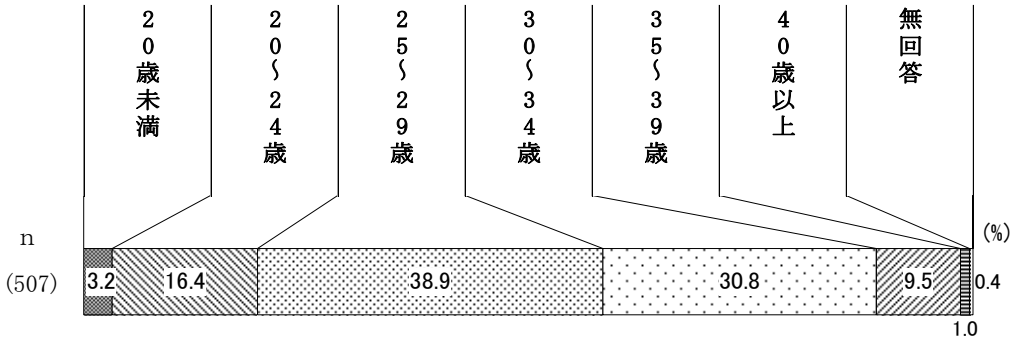
〈 妊娠中の相談相手の有無 〉



**問５　第１子を妊娠したときの年齢はいくつでしたか。**

第１子妊娠時の年齢は、「25～29歳」が38.9％で最も高く、次いで「30～34歳」（30.8％）となっている。

〈 第１子妊娠時の母の年齢 〉

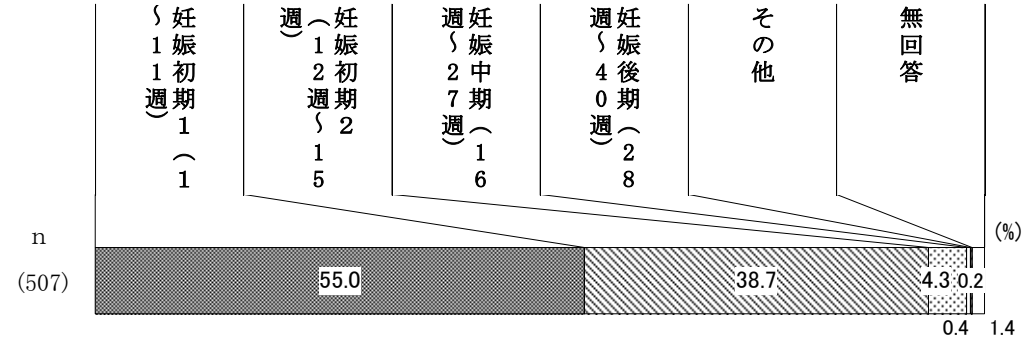



## （２）母子手帳の交付

**問６　母子健康手帳の交付を受けたのは、いつごろですか。**

母子健康手帳の交付を受けた時期としては、「妊娠初期１（１～11週）」が55.0％で最も高く、次いで「妊娠初期２（12～15週）」（38.7％）となっている。

〈 母子手帳の交付を受けた時期 〉

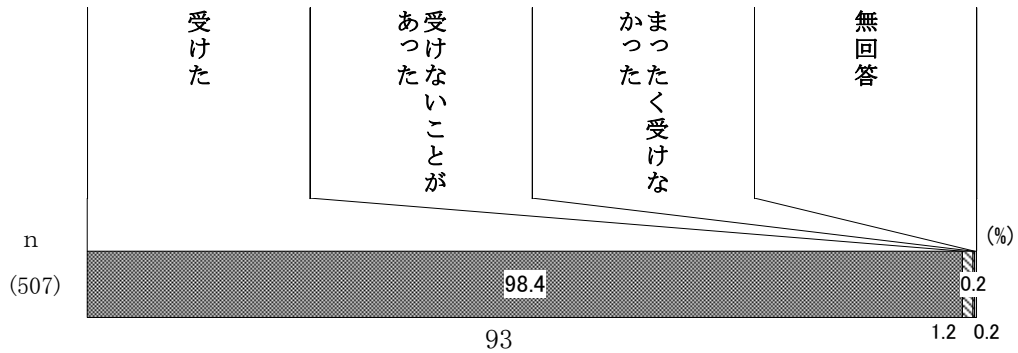



## （３）妊娠中の定期健診

**問７　妊娠中、定期的に健診を受けましたか。**

妊娠中に定期的な健診を「受けた」は98.4％を占めている。

〈 妊娠中の定期的な健診受診の有無 〉

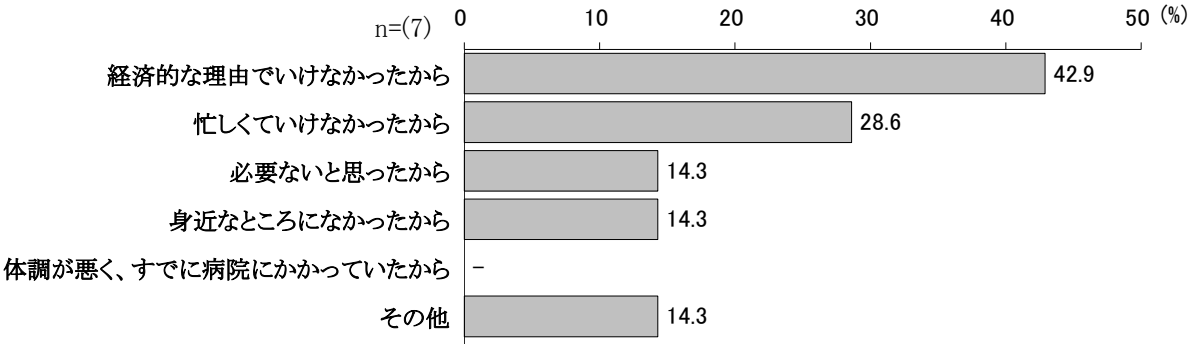


問７で「２あるいは３」と答えた方へ

**問７－１　健診を受けなかった理由は何ですか。（複数回答可）**

妊娠中の定期的な健診を受けなかった理由で最も多かったのは、「経済的な理由で行けなかったから」が３人で42.9％となっている。

〈 健診を受けなかった理由 〉

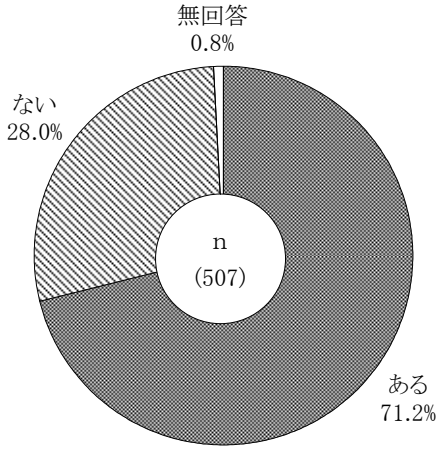



## （４）妊婦健診時の日常生活指導

**問８　妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けたことがありますか。**

妊婦健診時に医師や助産婦から日常生活の指導を受けたことが「ある」が71.2％を占めている。

〈 医師などからの日常生活の指導の有無 〉

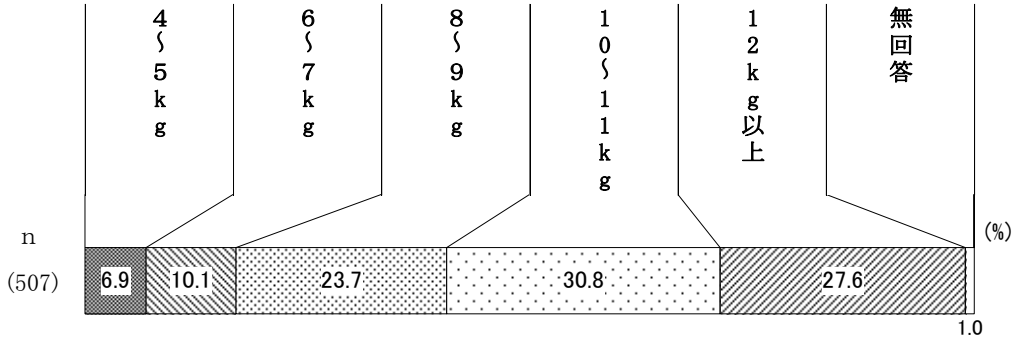


## （５）妊娠中の体重管理

**問９　出産直前の体重は、妊娠前にくらべて、どのくらいまで増えましたか。**

妊娠前と比較した場合の体重の増加は、「10～11kg」が30.8％で最も高く、以下「12kg以上」(27.6％)、「８～９kg」(23.7％）の順で続いている。

〈 妊娠前と比べた出産直前の体重の増加 〉

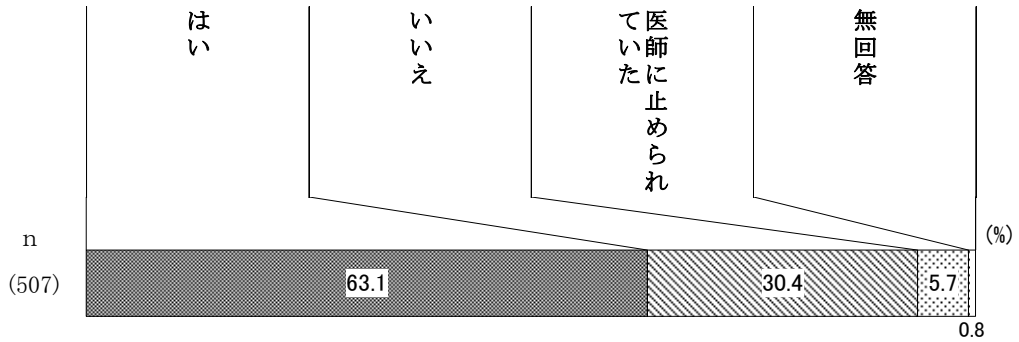



## （６）妊娠中期

**問10　妊娠中期（16週～27週）頃、積極的に身体を動かしましたか。**

妊娠中期の積極的な身体運動の実施については、「はい」が63.1％、「いいえ」が30.4％となっている。

〈 妊娠中期の積極的な身体運動 〉



## （７）喫煙状況

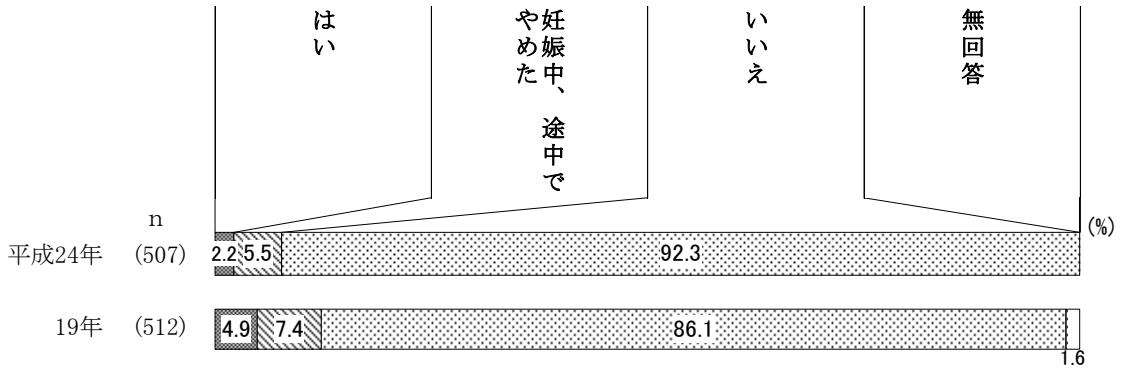
**問11　妊娠中、喫煙はしていましたか。**

妊娠中の喫煙については、「はい」が2.2%と極めて少なくなっている。また、「妊娠中、途中でやめた」は5.5%となっている。

一方、「いいえ」は92.3%となっている。

平成19年の調査結果と比べると、今回、「いいえ」が92.3%と、前回の86.1%より増加している。

〈 前回／妊娠中の喫煙 〉

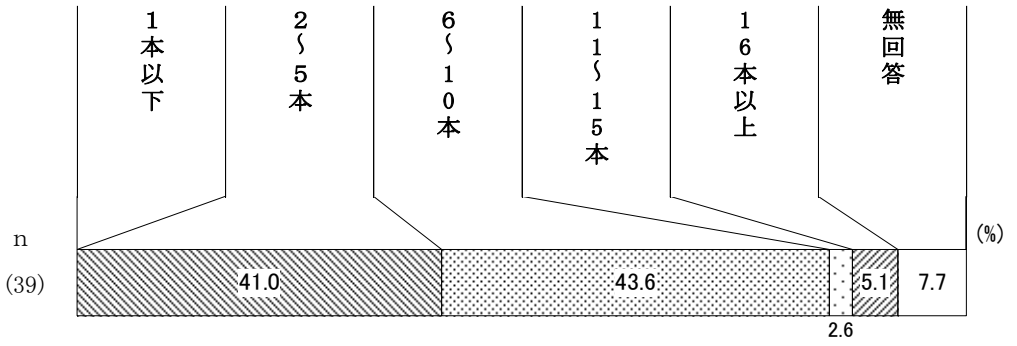



**<u>問11で「１または２」と答えた方へ</u>**

**問11－１　一日何本くらい吸っていましたか。**

妊娠中の喫煙本数としては、「６～10本」(43.6%) と「２～５本」(41.0%) が高くなっている。

〈 １日の喫煙本数 〉

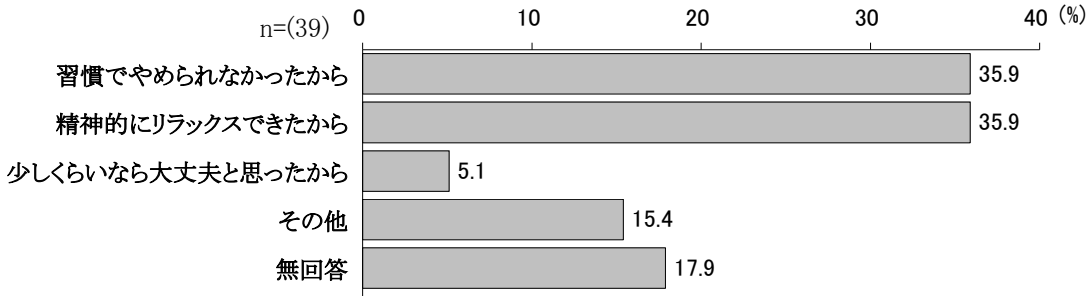


問11で「１または２」と答えた方へ

問11－２　吸っていたのはなぜですか（複数回答可）

妊娠中の喫煙の理由としては、「習慣でやめられなかったから」と「精神的にリラックスできたから」（ともに35.9%）が、特に高くなっている。

〈 吸っていた理由 〉

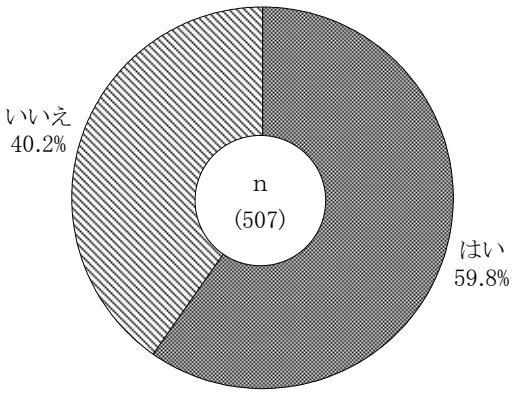



## （８）栄養補助食品

問12　妊娠中、栄養補助食品をとりましたか。

妊娠中の栄養補助食品の摂取については、「はい」が59.8%、「いいえ」が40.2%となっている。

〈 妊娠中の栄養補助食品摂取の有無 〉

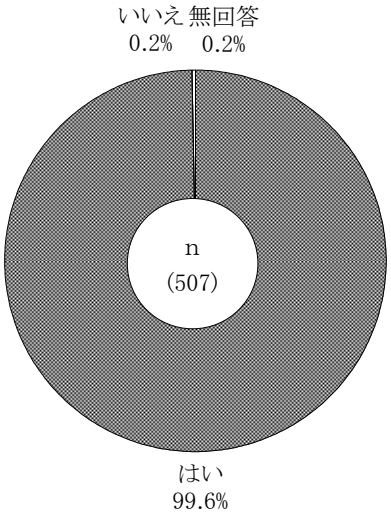


## （９）妊娠中の喫煙

**問13　妊娠中の喫煙が胎児に悪い影響を与えることは知っていましたか。**

妊娠中の喫煙が胎児に悪影響を与えるという認識があるかについては、「はい」が99.6%を占めている。

**〈 妊娠中の喫煙が胎児に悪影響を与えるという認識 〉**

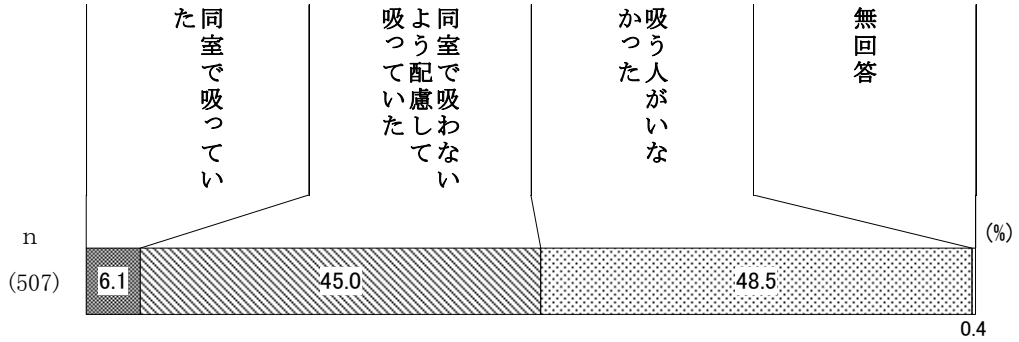



## （10）家族の喫煙状況

**問14　妊娠中、同居の家族はたばこを吸っていましたか。**

妊娠中の同居家族の喫煙状況をみると、「同室で吸っていた」が6.1%、「同室では吸わないよう配慮して吸っていた」が45.0%となっている。一方、「吸う人がいなかった」は48.5%となっている。

**〈 妊娠中の同居家族の喫煙状況 〉**

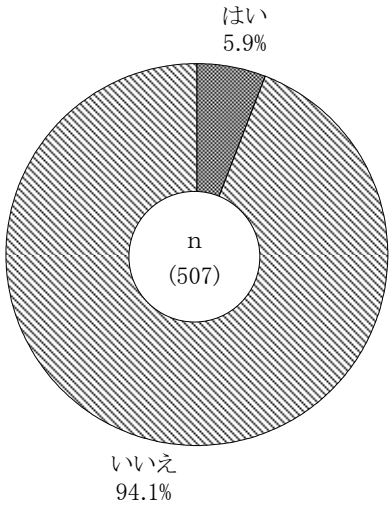


## (11) 飲酒状況

**問15　妊娠中、飲酒はしていましたか。**

妊娠中の飲酒については、「いいえ」が94.1%を占めている。

〈 妊娠中の飲酒状況 〉

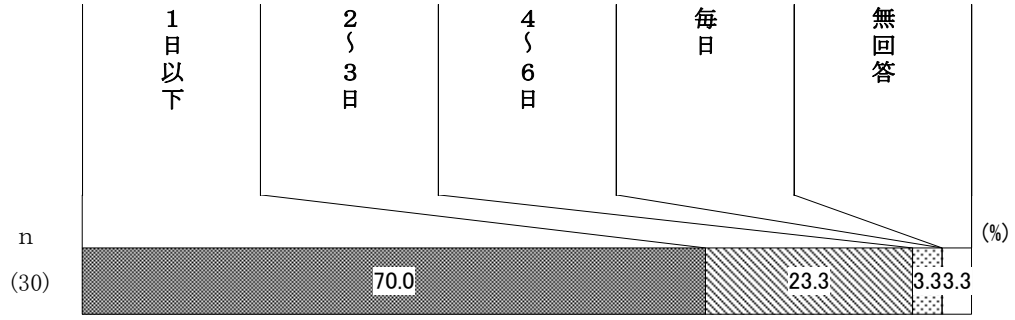



**問15で「はい」と答えた方へ**

**問15－１　週に何日くらい飲酒していましたか。**

妊娠中の１週間の飲酒頻度としては、「１日以下」が70.0%を占めている。

〈 妊娠中の１週間の飲酒頻度 〉

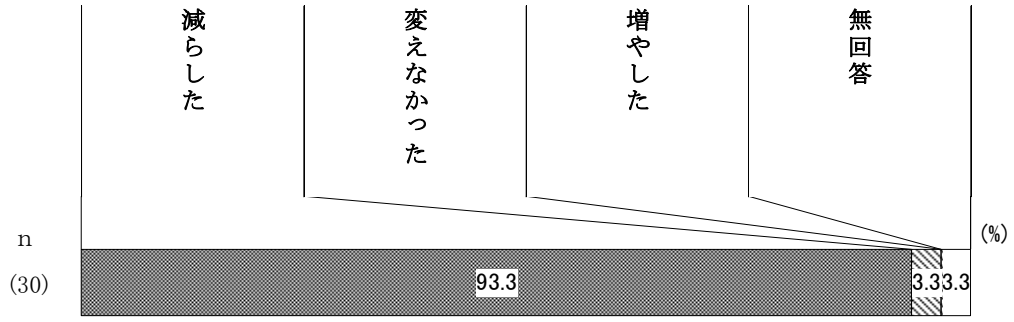


問15で「はい」と答えた方へ

問15－２　妊娠中、妊娠前とくらべて飲酒量を変えましたか。

妊娠前と比較した飲酒量の変化については、「減らした」が93.3%を占めている。

〈 妊娠前と比較した飲酒量 〉

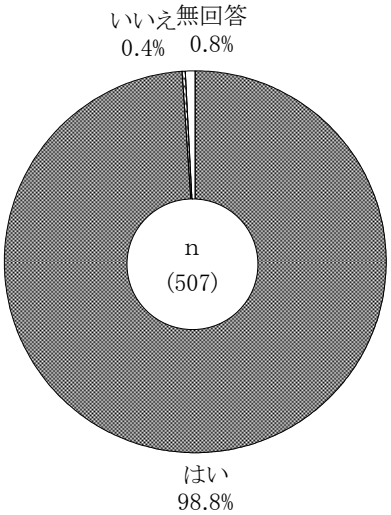



## (12) 妊娠中の飲酒

問16　妊娠中の大量飲酒がお母さんの身体や胎児の成長に悪い影響があることを知っていましたか。

妊娠中の大量飲酒が母体や胎児に悪影響を与えるという認識については、「はい」が98.8%を占めている。

〈 妊娠中の大量飲酒が母体や胎児に悪影響を与えるという認識 〉

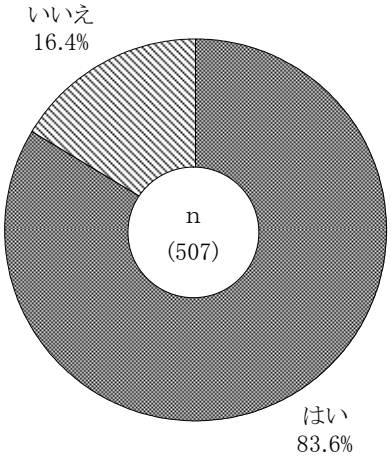


## (13) マタニティクラス

**問17　マタニティクラス（母親学級）に参加しましたか。**

マタニティクラスへの参加については、「はい」が83.6%を占めている。平成19年の調査結果と比較すると、前回の76.2%から増加している。

〈 マタニティクラスへの参加 〉



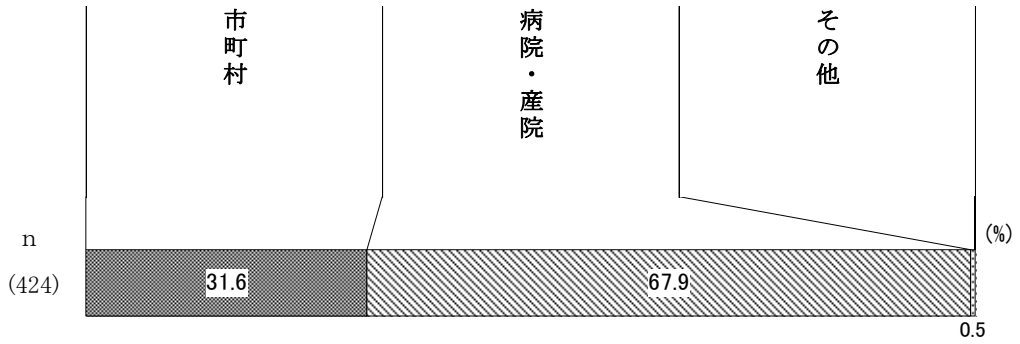

**問17で「はい」と答えた方へ**

**問17－１　どこでマタニティクラスに参加しましたか。**

参加したマタニティクラスの場所は、「病院・産院」が67.9%、「市町村」が31.6%となっている。

平成19年の調査結果と比較すると、前回の「市町村」が50.3%、「病院・産院」が48.7%であったが、「病院・産院」が増加している。

〈 参加したマタニティクラスの場所 〉

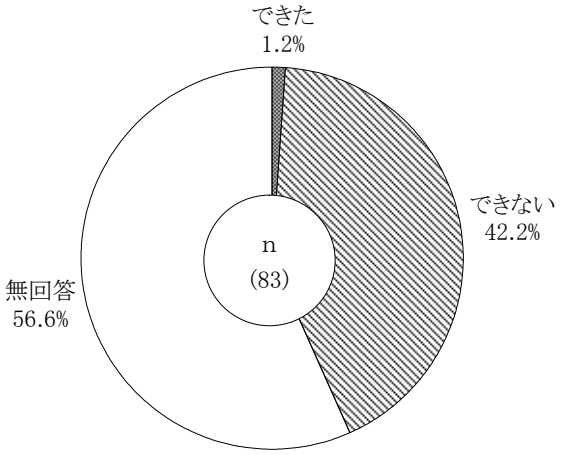


問17で「いいえ」と答えた方へ

**問17－２　マタニティクラスの参加時には友達はできましたか。**

参加したマタニティクラスにおいて友達が「できた」は1.2%となっている。

**〈 参加したマタニティクラスの友達 〉**

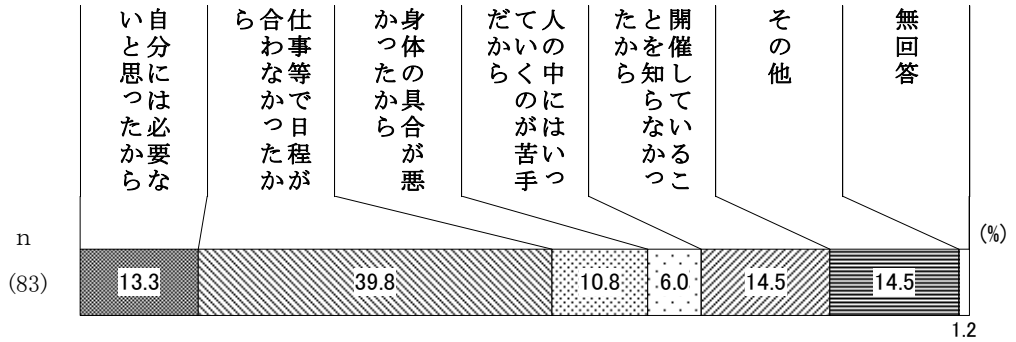



問17で「いいえ」と答えた方へ

**問17－３　参加しなかった理由で最もあてはまるものは何ですか。**

マタニティクラスに参加しなかった理由としては、「仕事等で日程が合わなかったから」が39.8%で最も高く、以下「開催していることを知らなかったから」(14.5%)、「自分には必要ないと思ったから」(13.3%) の順で続いている。

**〈 参加しなかった理由 〉**

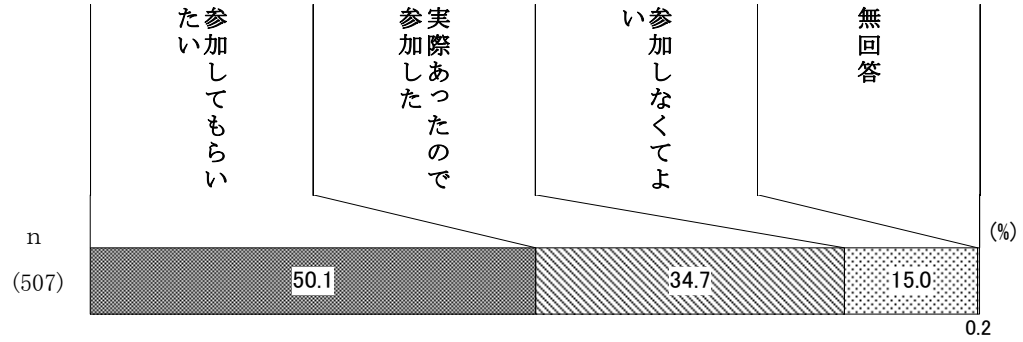


## （14）両親学級・父親学級

**問18　「両親学級」「父親学級」があれば、夫にも参加してもらいたいですか。**

「両親学級」「父親学級」への夫の参加については、「実際あったので参加した」が34.7％「参加してもらいたい」が50.1％となっている。一方、「参加しなくてよい」は15.0％である。

**〈 「両親学級」「父親学級」の夫への参加希望 〉**

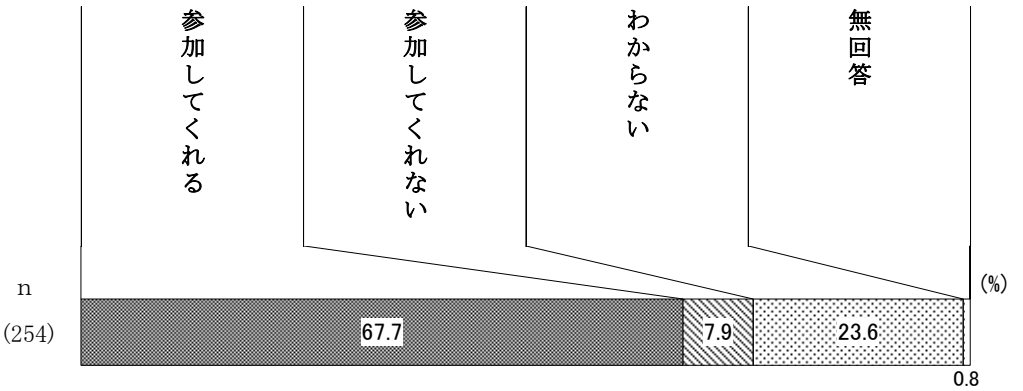



**<u>問18で「参加してもらいたい」と答えた方へ</u>**

**問18－１　夫は参加してくれると思いますか。**

「両親学級」「父親学級」へ夫に参加してもらいたいという人に、実際に夫が参加すると思うか、聞いたところ「参加してくれる」が67.7％を占めている。

**〈 夫の参加意向 〉**

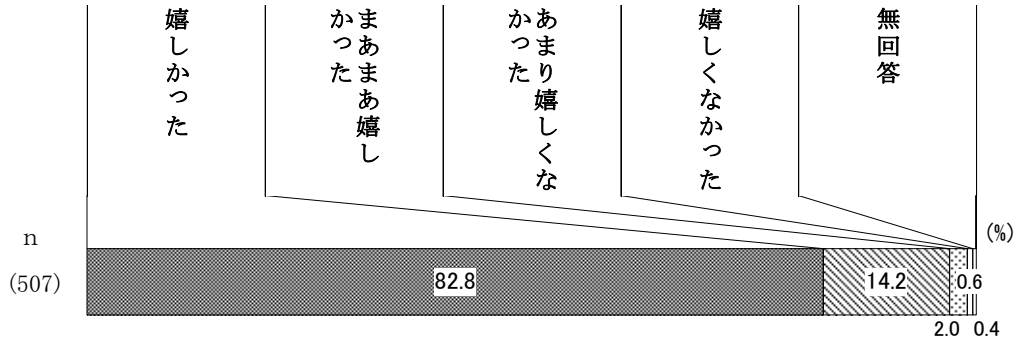


## （15）妊娠がわかったとき

**問19　妊娠とわかったときのお気持ちで、最もあてはまるものは次のうちどれですか。**

妊娠がわかったときの気持ちは「嬉しかった」が82.8％を占めている。

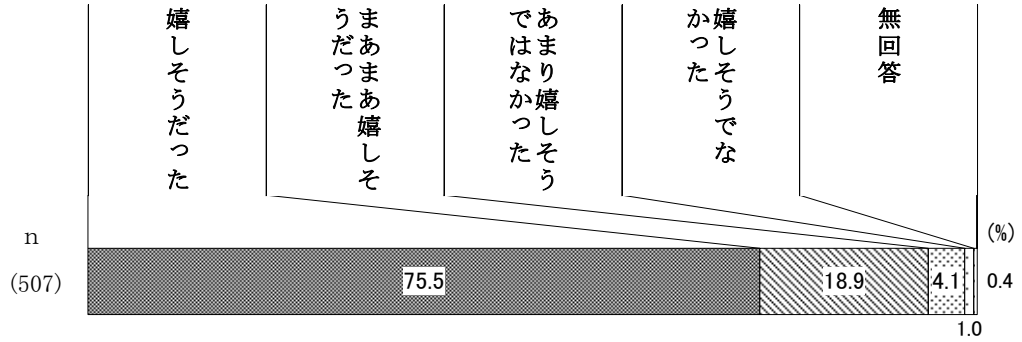
〈 妊娠がわかったときの気持ち 〉




**問20　妊娠とわかったときの夫の様子で、最もあてはまるものは次のうちどれですか。**

妊娠がわかったときの夫の様子は、「嬉しそうだった」が75.5％を占めている。

〈 妊娠がわかったときの夫の様子 〉

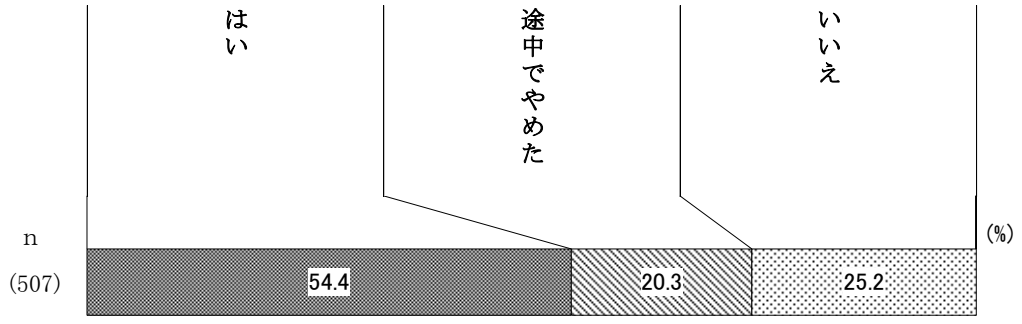



## （16）妊娠中の仕事

**問21　妊娠中、仕事をもっていましたか。**

妊娠中仕事を継続したかについては、「はい」が54.4％で最も高く、「途中でやめた」は20.3％となっている。一方、「いいえ」は25.2％となっている。

〈 妊娠中の仕事の有無 〉

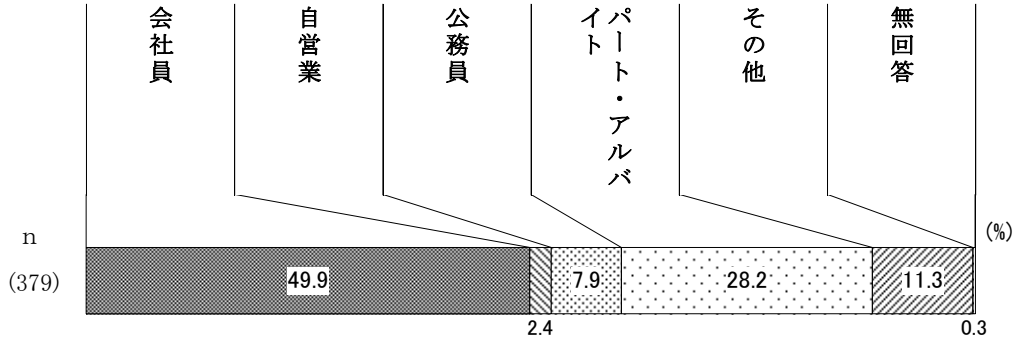


問21で「１あるいは２」と答えた方へ

問21－１　職業は何ですか（あるいは何でしたか）。

妊娠中の職業としては、「会社員」が49.9％で最も高く、次いで「パート・アルバイト」（28.2％）となっている。

〈 妊娠中の職業 〉

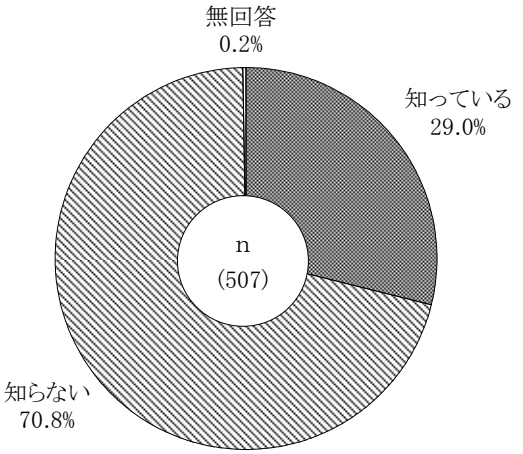



## (17) 母性健康管理指導事項連絡カード

問22　母性健康管理指導事項連絡カードを知っていますか。

母性健康管理指導事項連絡カードを「知っている」は29.0％、「知らない」は70.8％となっている。

〈 母性健康管理指導事項連絡カードの知識 〉

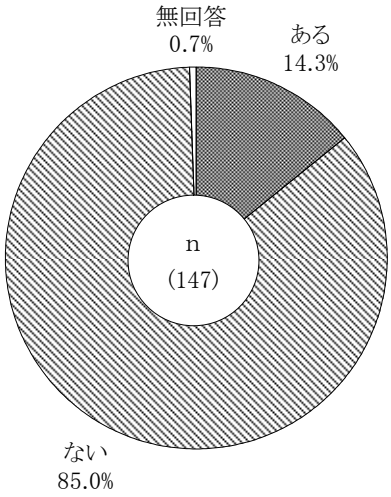


問22で「知っている」と答えた方へ

**問22－１　利用したことはありますか。**

母性健康管理指導事項連絡カードを知っている人のうち、利用したことが「ある」は14.3%、「ない」は85.0%となっている。

**〈 母性健康管理指導事項連絡カードの利用 〉**



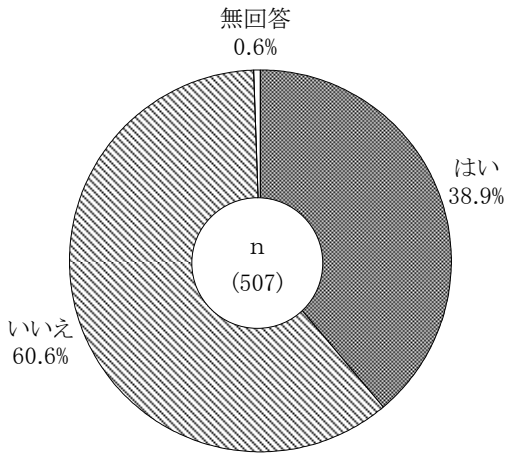
# ４．第１子を出産したときの状況

## （１）里帰り出産

**問１　出産に先立って、里帰りしましたか。**

出産に先立っての里帰りについては、「はい」が38.9%、「いいえ」が60.6%となっている。

〈 出産に先立っての里帰り 〉

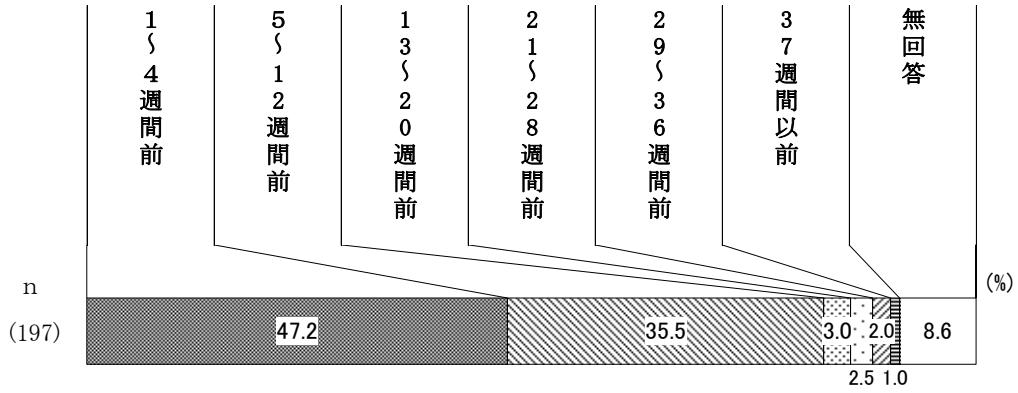



**問１で「はい」と答えた方へ**

**問１－１　いつごろから里帰りしましたか。**

里帰りの時期としては、「１～４週間前」が47.2%で最も高く、次いで「５～12週間前」（35.5%）となっている。

〈 里帰りの時期 〉

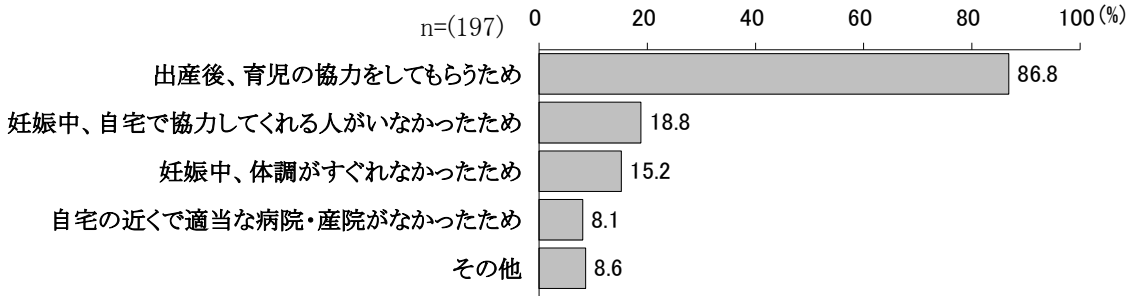


**問１で「はい」と答えた方へ**

**問１－２　里帰り出産をした理由はなんですか。（複数回答可）**

里帰り出産をした理由としては、「出産後、育児の協力をしてもらうため」が86.8％で最も高く、次いで、「妊娠中、自宅で協力してくれる人がいなかったため」（18.8％）となっている。

〈 里帰り出産をした理由 〉

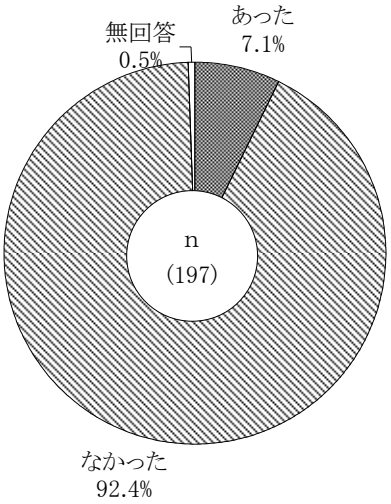



**問１で「はい」と答えた方へ**

**問１－３　里帰り出産で保健サービスや医療を受けるにあたり困ったことがありましたか。**

里帰り出産で保健サービスを受けるにあたり困った経験は「なかった」が92.4％を占めている。

〈 里帰り出産で保健サービスを受けるにあたり困ったことの有無 〉

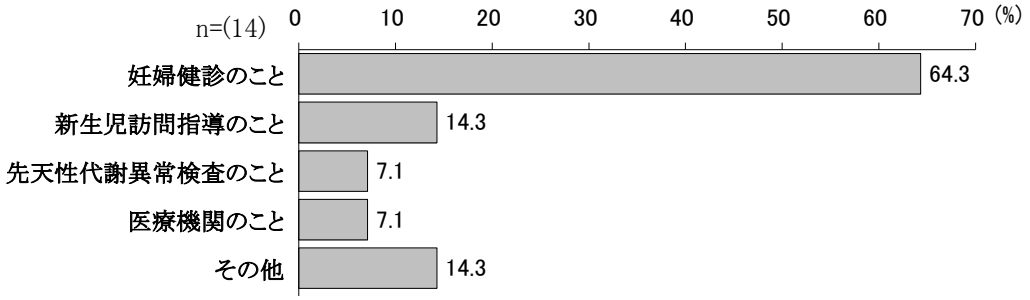


問１－３で「あった」と答えた方へ

**問１－４　どんなことで困りましたか。（複数回答可）**

里帰り出産で保健サービスを受けるにあたり困った内容としては、「妊婦健診のこと」が64.3%で最も高く、次いで「新生児訪問指導のこと」（14.3%）となっている。

**〈 里帰り出産で保健サービスを受けるにあたり困った内容 〉**

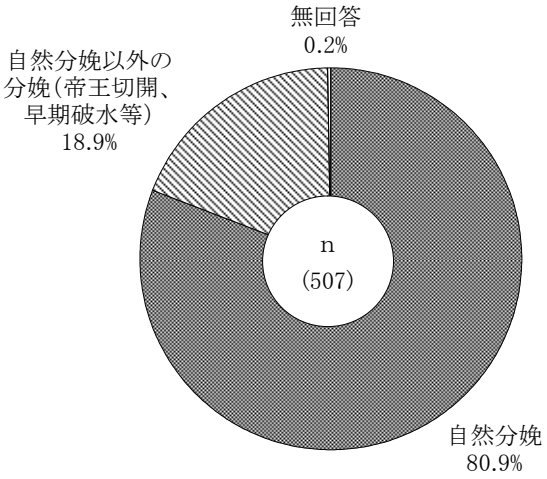


## （２）出産の状態

**問２　出産の状態はどうでしたか。**

出産の状態は「自然分娩」が80.9％と最も高く、次いで「自然分娩以外の分娩（帝王切開、早期破水等)」(18.9％）となっている。

〈 出産の状態 〉

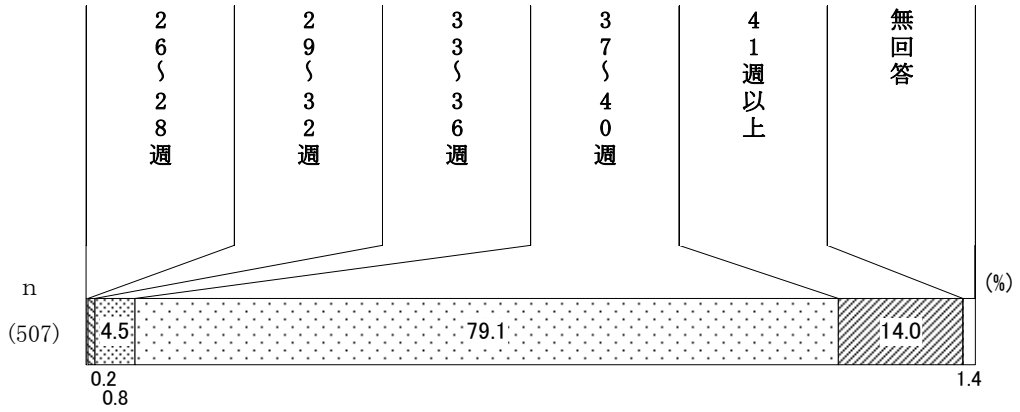



## （３）出産時の妊娠週数

**問３　出産時の妊娠週数はどのくらいでしたか。数字を記入してください。**

出産時の妊娠週数は、「37～40週」が79.1％で最も高く、次いで「41週以上」(14.0％）となっている。

〈 出産時の妊娠週数 〉

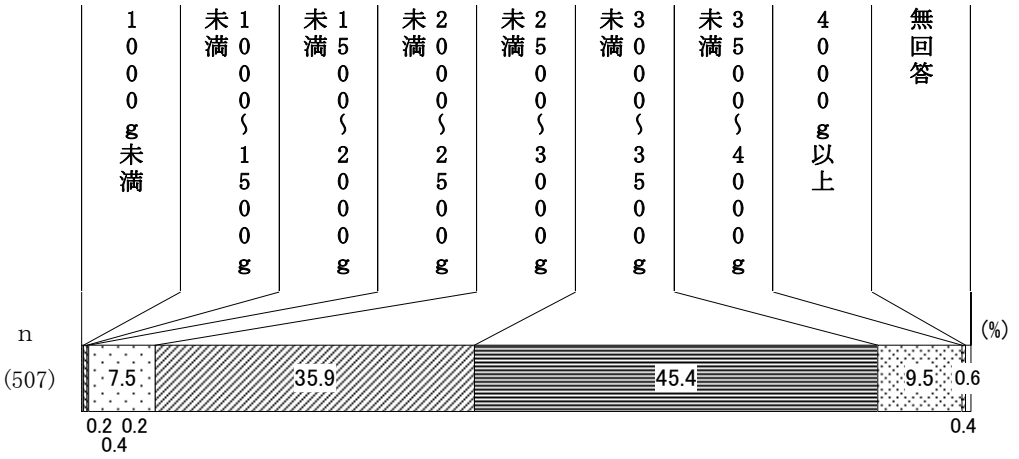


## （４）出産時の子ども

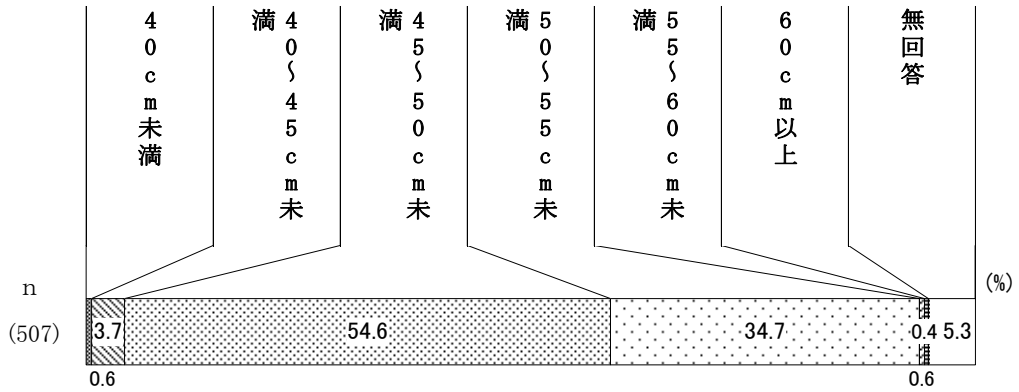
**問４　出産時のお子さんの体重と身長はどのくらいでしたか。数字を記入してください。**

出産時の子どもの体重としては、「3000～3500ｇ未満」が45.4％で最も高く、次いで「2500～3000ｇ未満」（35.9％）となっている。

〈 出産時の子どもの体重 〉




〈 出産時の子どもの身長 〉

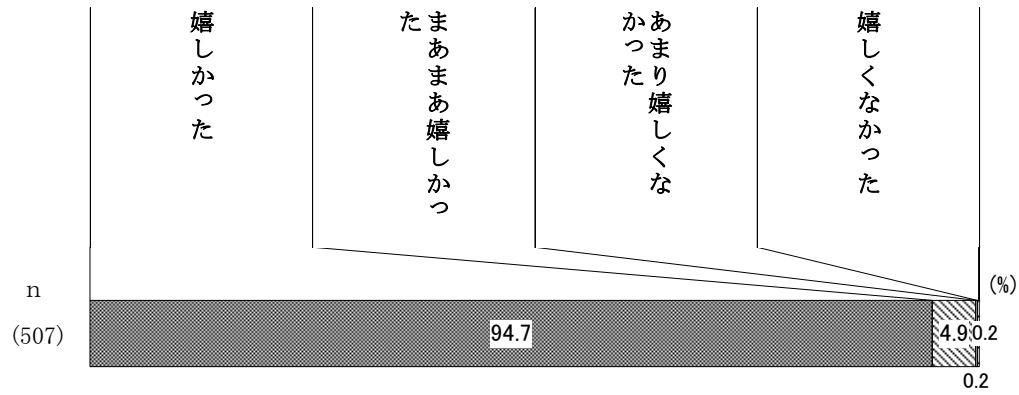



## （５）子どもの顔を見たときの気持ち

**問５　出産し、お子さんの顔を見たときの気持ちで最もあてはまるものはどれですか。**

出産し、子どもの顔を見たときの気持ちとしては、「嬉しかった」が94.7％を占めている。

〈 出産し、子どもの顔を見たときの気持ち 〉

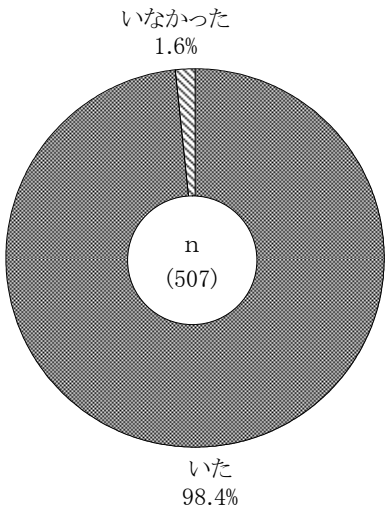


## （６）産後１ヶ月頃まで

**問６　産後１ヶ月頃までの時期に協力してくれた人はいましたか。**

産後１ヶ月頃までの時期に協力者が「いた」が98.4%を占めている。

〈 産後１ヶ月頃までの協力者の有無 〉

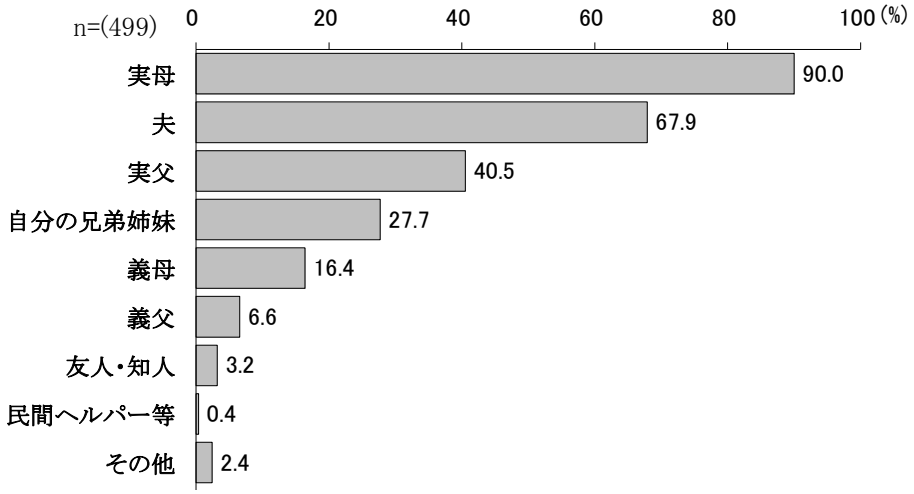



**問６で「いた」と答えた方へ**

**問６－１　誰が協力してくれましたか。（複数回答可）**

産後１ヶ月頃までの協力者としては、「実母」が90.0%で最も高く、以下「夫」(67.9%)、「実父」(40.5%)の順で続いている。

〈 産後１ヶ月頃までの協力者 〉

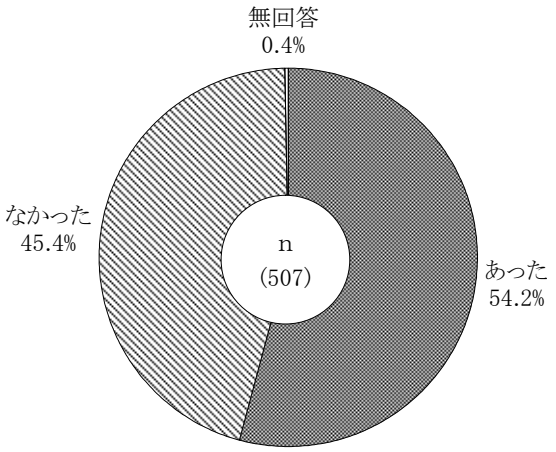


## （７）産後３ヶ月頃まで

**問７　産後３ヶ月くらいまでの間に気分が沈んだり涙もろくなったり何もする気になれないということがありましたか。**

産後３ヶ月くらいまでの気分の低下が「あった」は54.2%、「なかった」は45.4%となっている。

**〈 産後３ヶ月くらいまでの気分の低下 〉**



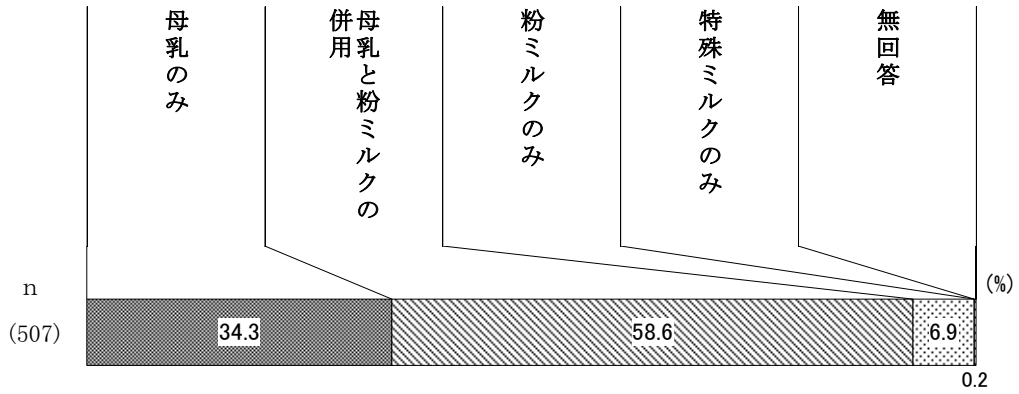
# ５．第１子の育児

## （１）栄養

**問１　生後１ヶ月頃はお子さんを何で育てていましたか。**

生後１ヶ月頃の子どもの食事としては、「母乳と粉ミルクの併用」が58.6%で最も高く、次いで「母乳のみ」（34.3%）となっている。

〈 生後１ヶ月頃の子どもの食事 〉

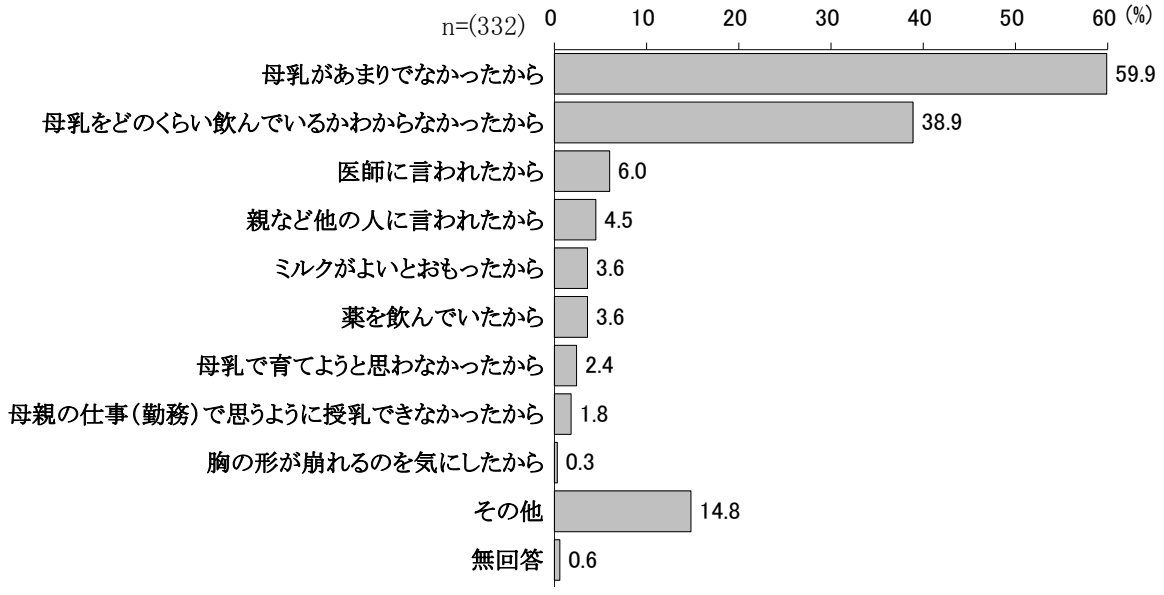



**<u>問１で「２～４」と答えた方へ</u>**

**問１－１　母乳のみにしなかった理由は何ですか。（複数回答可）**

母乳のみにしなかった理由としては、「母乳があまり出なかったから」が59.9%で最も高く、次いで「母乳をどのくらい飲んでいるかわからなかったから」（38.9%）となっている。

〈 母乳のみにしなかった理由 〉

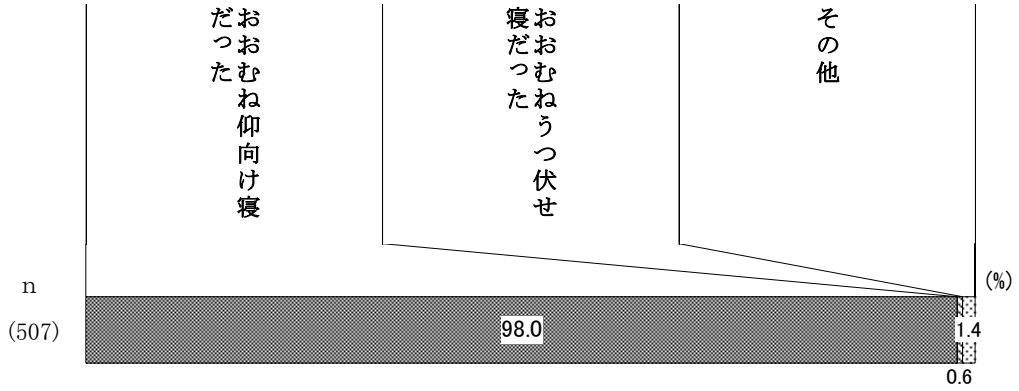


## （２）子どもの寝かせ方

**問２　お子さんが生まれてからの寝かせ方はどうでしたか。**

子どもが生まれてからの寝かせ方としては、「おおむね仰向け寝だった」が98.0％を占めている。

〈 子どもが生まれてからの寝かせ方 〉




**<u>問２で「２」と答えた方へ</u>**

**問２－１　どのような理由でそうしましたか。**

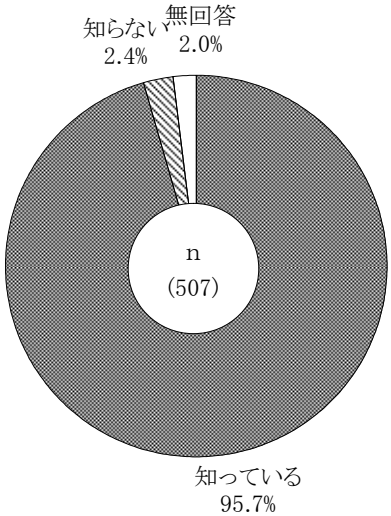
うつ伏せ寝をさせたという３人の理由としては、「自然にしていた」「生まれた病院でしていたから」「うつ伏せ寝がいいと思ったから」に分かれている。

## （３）乳幼児突然死症候群（ＳＩＤＳ）

**問３　うつ伏せ寝が乳幼児突然死症候群（ＳＩＤＳ）の危険因子のひとつといわれていることを知っていますか。**

うつ伏せ寝が『ＳＩＤＳ』の危険因子であるという認識について「知っている」が95.7％を占めている。

〈 うつ伏せ寝とＳＩＤＳとの関係 〉

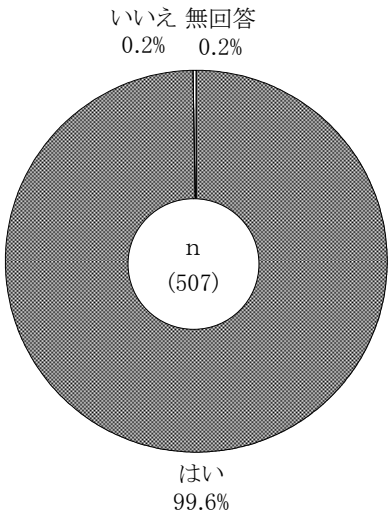


## （４）ＢＣＧ

**問４　ＢＣＧ接種を受けましたか。**

ＢＣＧの接種については「はい」が99.6%を占めている。

〈 ＢＣＧ接種の経験 〉

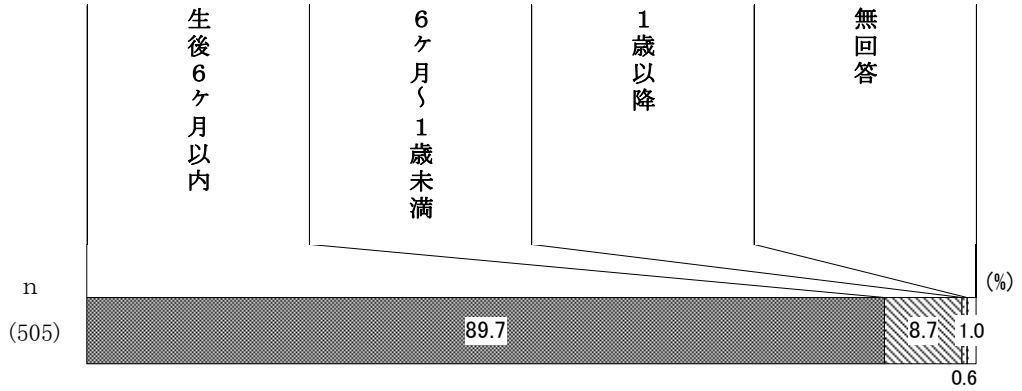



**問４で「はい」と答えた方へ**

**問４－１　接種したのはいつごろですか。**

ＢＣＧの接種の時期は、「生後６ヶ月以内」が89.7%を占めている。

〈 ＢＣＧを接種した時期 〉




**問４で「いいえ」と答えた方へ**

**問４－２　受けなかった理由で最もあてはまるのは何ですか。**

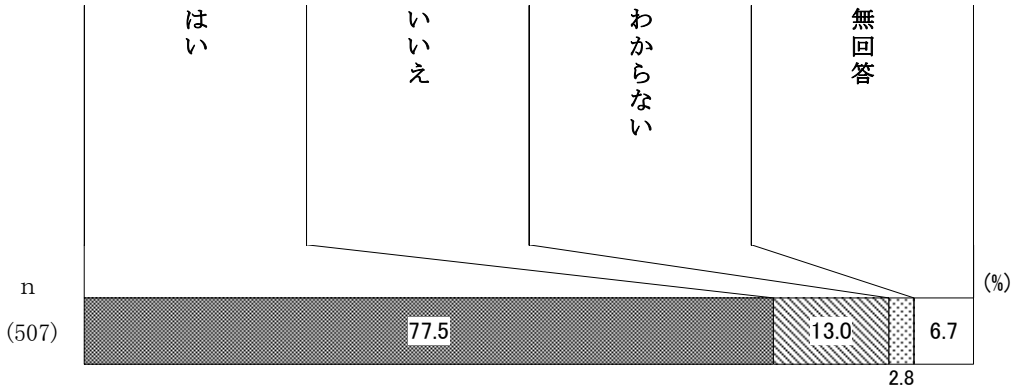
ＢＣＧの接種を受けなかった１人の理由は、「その他」となっている。

## （５）ＭＲ

**問５　ＭＲ（麻疹・風しん混合ワクチン）または麻疹（はしか）の予防接種を２歳までに受けましたか。**

２歳までのＭＲまたは麻疹予防接種については、「はい」が77.5％を占めている。

〈 ２歳までのＭＲまたは麻疹予防接種の有無 〉

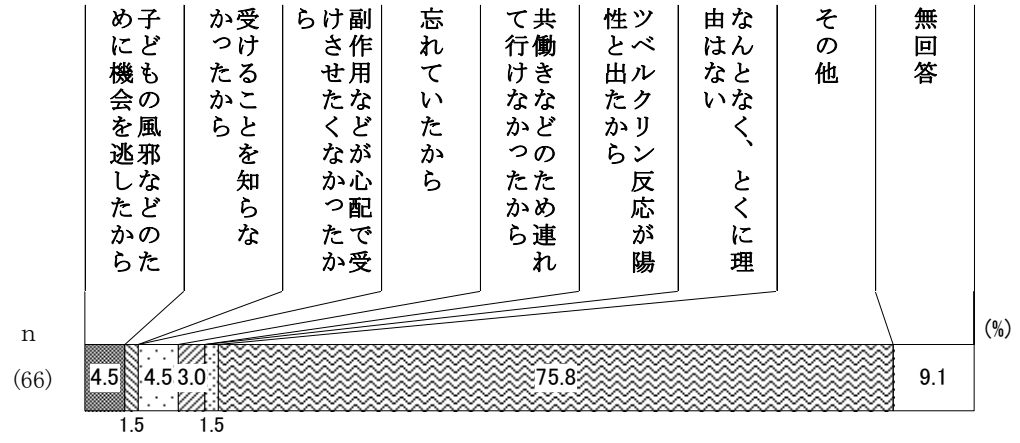



**<u>問５で「いいえ」と答えた方へ</u>**

**問５－１　受けなかった理由で最もあてはまるのは何ですか。**

２歳までのＭＲまたは麻疹予防接種を受けていない理由としては、「子どもの風邪などのために機会を逃したから」「忘れていたから」等が挙げられている。

〈 予防接種を受けなかった理由 〉



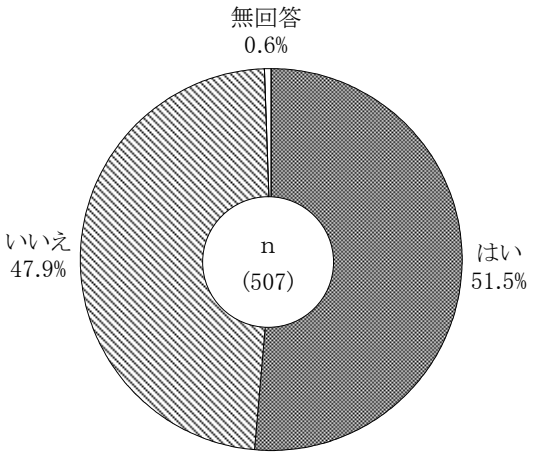
# ６．すべての子の育児

## （１）子どもの事故死

**問１　１歳から14歳までの子どもは、病気でなくなるよりも事故でなくなる子どもの方が多いことを知っていましたか。**

１歳から14歳までの子どもは、病気でなくなるより事故でなくなる子どもの方が多いことを知っていたかについては、「はい」が51.5％、「いいえ」が47.9％となっている。

**〈 １歳から14歳までの子どもが病気より事故での死亡が多いことの知識 〉**



## （２）事故やけがの防止

問２　家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

問２－１　階段などから子どもが落ちないよう柵などをつけている
問２－２　水を張った浴槽に子どもが落ちないようにしている
問２－３　子どもだけを家に残さないようにしている
問２－４　誤って飲み込まないように、薬やお金などは子どもの手の届かないところに置いている
問２－５　玄関から飛び出さないように柵や網をつけている
問２－６　その他にしている工夫があったらお書きください

〈階段等の転落防止〉については、「している」が38.5％を占めている。

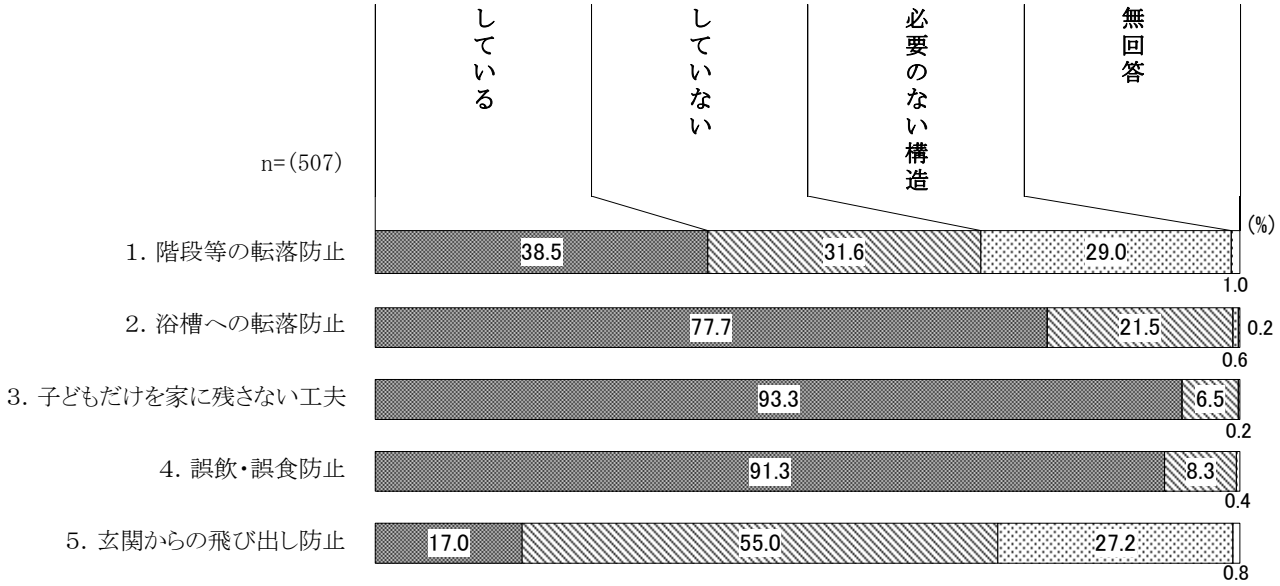
〈浴槽への転落防止〉については、「している」が77.7％を占めている。

〈子どもだけを家に残さない工夫〉については、「している」が93.3％を占めている。

〈誤飲・誤食防止〉については、「している」が91.3％を占めている。

〈玄関からの飛び出し防止〉については、「していない」が55.0％を占めている。また、「玄関は棚や網をつけなくてよい構造である」は27.2％となっている。一方、「している」は17.9％となっている。

〈 家庭内での子どもの事故防止のための工夫 〉

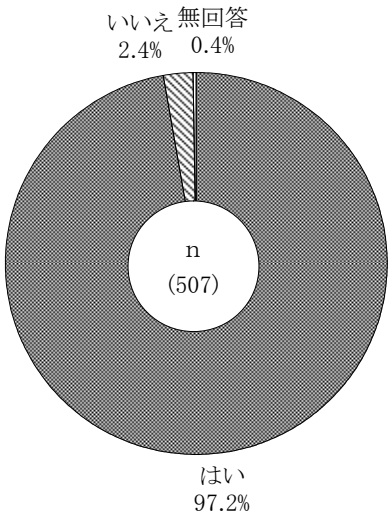


## （３）チャイルドシート

**問３　子どもを車に乗せるときにはチャイルドシートをしていますか。**

子どもを車に乗せるときにチャイルドシートをしているかについては、「はい」が97.2%を占めている。

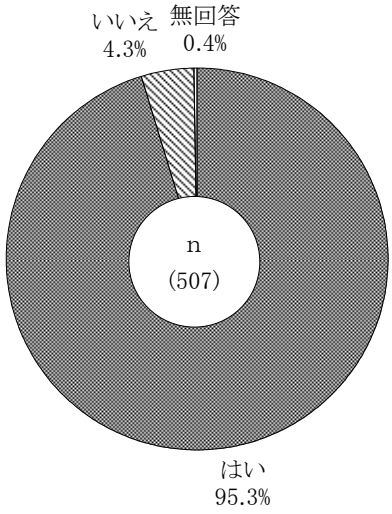
**〈 チャイルドシートの使用 〉**




**問４　チャイルドシートの正しい装着方法を知っていますか。**

チャイルドシートの正しい装着方法については、「はい」が95.3%を占めている。

**〈 チャイルドシートの正しい装着方法の知識 〉**

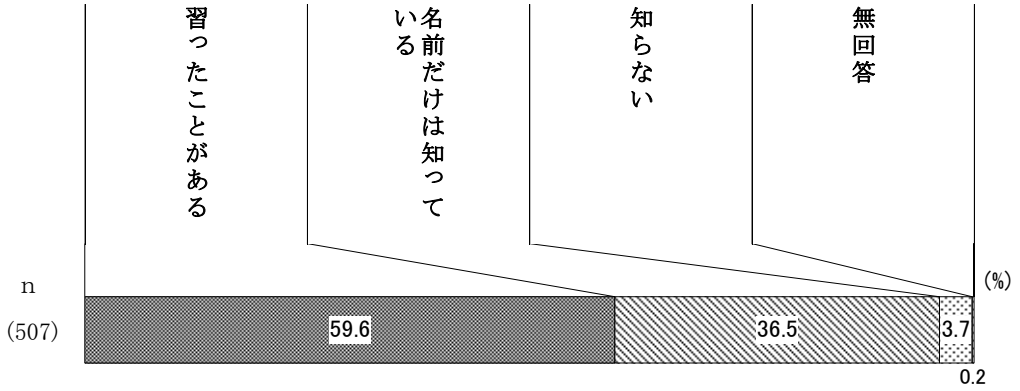


## （４）心肺蘇生法

**問５　心肺蘇生法を知っていますか。**

心肺蘇生法について、「習ったことがある」が59.6％と最も高く、次いで「名前だけは知っている」(36.5％）となっている。一方、「知らない」は3.7％となっている。

〈 心配蘇生法の知識 〉

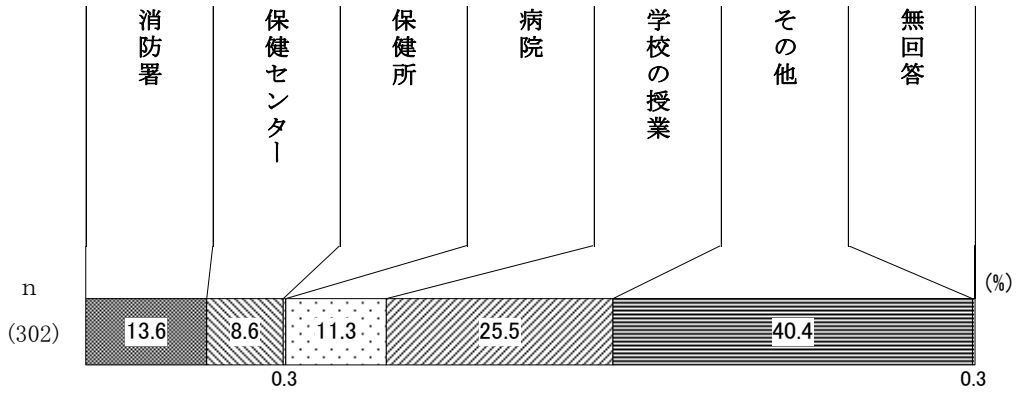



**<u>問５で「習ったことがある」と答えた方へ</u>**

**問５－１　どこで習いましたか。**

心肺蘇生法を習った人の習得場所としては、「学校の授業」が25.5％で最も高く、以下「消防署」(13.6％)、「病院」(11.3％）の順で続いている。

〈 心配蘇生法を習った場所 〉

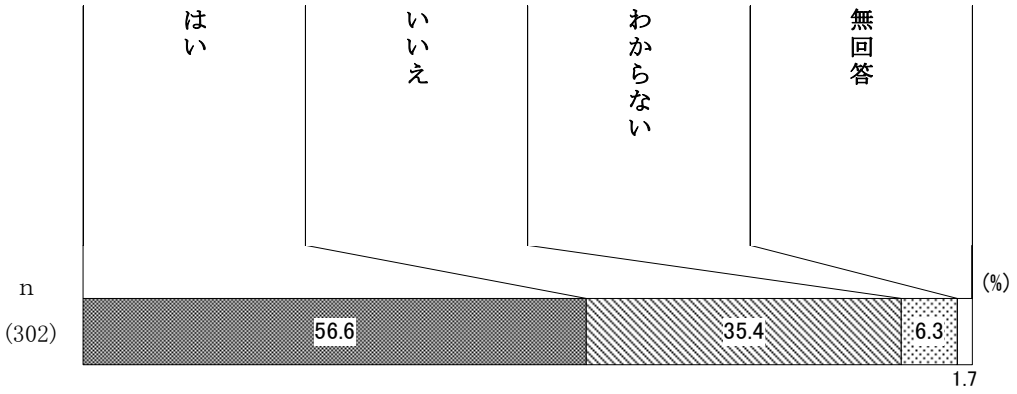


問５で「習ったことがある」と答えた方へ

**問５－２　その際、子どもの心肺蘇生法は習いましたか。**

心肺蘇生法を習った人のうち、子どもの心肺蘇生法の習得については、「はい」が56.6%、「いいえ」が35.4%となっている。

**〈 子どもの心配蘇生法を習った経験 〉**

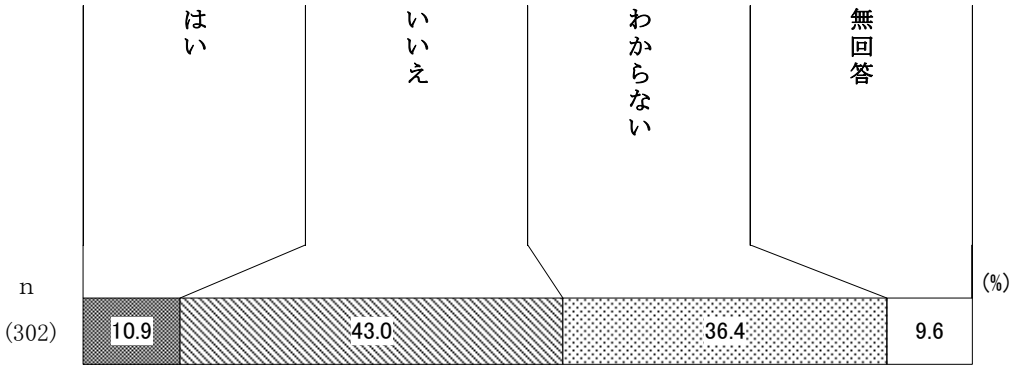



問５で「習ったことがある」と答えた方へ

**問５－３　実際に心肺蘇生法を実践する自信はありますか。**

心肺蘇生法を習った人のうち、実際に心肺蘇生法を実践する自信の有無については、「いいえ」が43.0%を占めている。また、「わからない」という人も36.4%となっている。

**〈 心配蘇生法を実践する自信 〉**

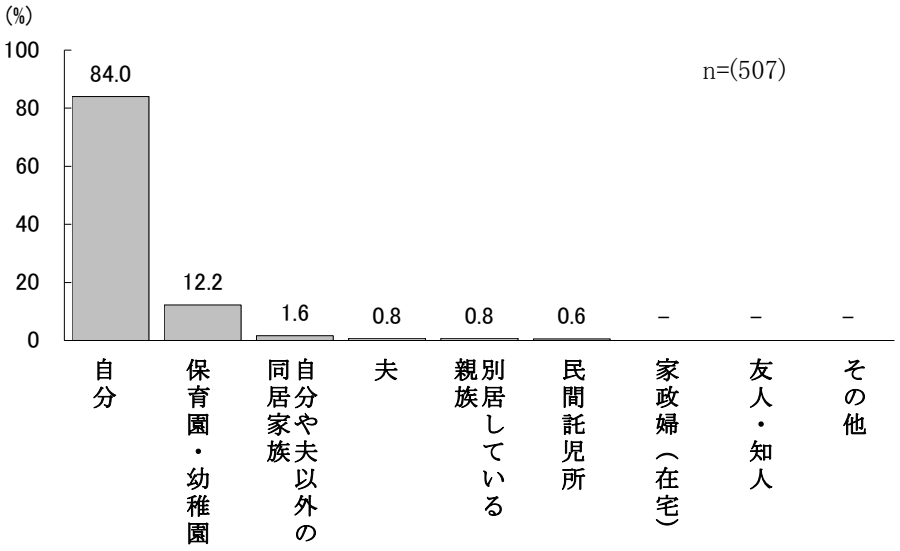


## （５）日中の育児

**問６　日中の育児は主にどなたが行っていますか。続柄はお母さん自身から見たものとします。（１つのみ回答）**

日中の主な育児者としては、「自分」が84.0％と最も高く、次いで「保育園・幼稚園」（12.2％）となっている。

〈 日中の主な育児者 〉

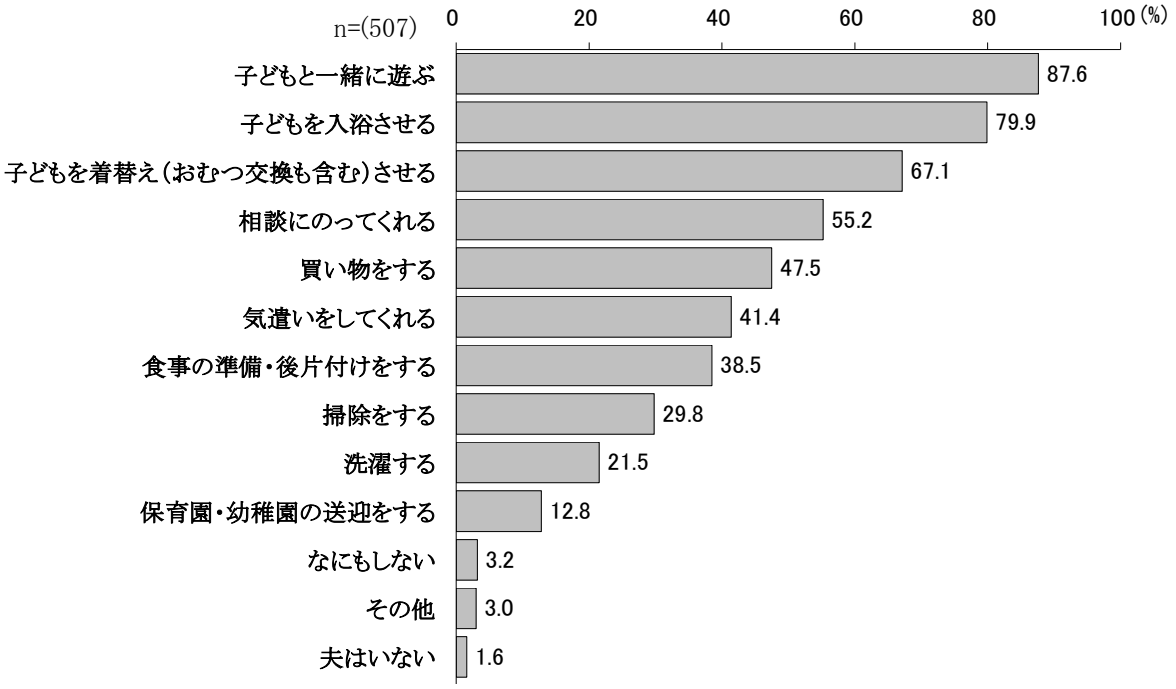



## （６）夫の育児参加

**問７　夫は、育児にどのような形で参加してくれていますか。（複数回答可）**

夫の育児参加の状況については、「子どもと一緒に遊ぶ」が87.6％で最も高く、以下「子どもを入浴させる」（79.9％）、「子どもを着替え（おむつ交換も含む）させる」（67.1％）の順で続いている。

〈 夫の育児参加の状況 〉

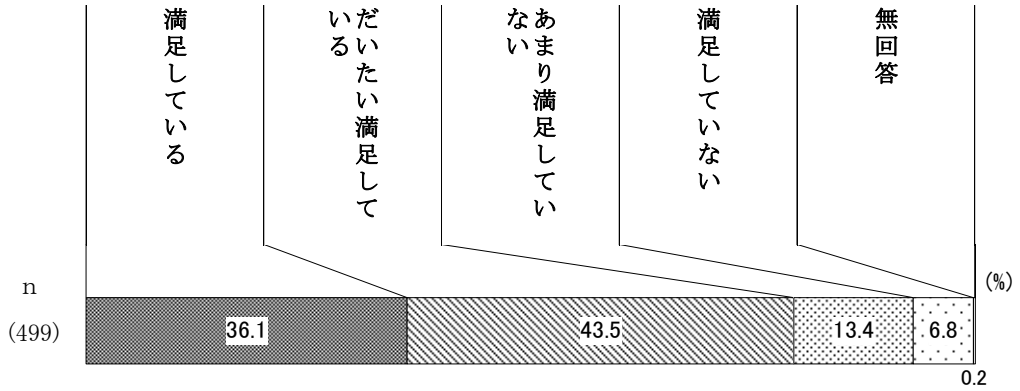


問７で「１～12」と回答した方へ

**問７－１　夫の協力の仕方に満足していますか。**

夫の育児への協力については、「満足している」が36.1%、「だいたい満足している」が43.5%となっており、あわせると79.6%が満足していると答えている。

**〈 夫の協力の満足度 〉**

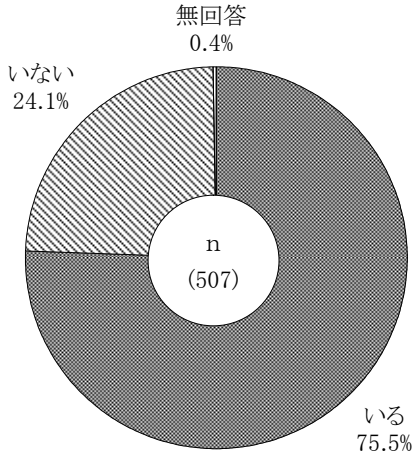



## （７）育児について話し合える友達

**問８　近所に育児について話し合える友達がいますか。**

近所に育児について話し合える友達が「いる」は75.5%、「いない」が24.1%となっている。

**〈 近所に育児について話し合える友達の有無 〉**

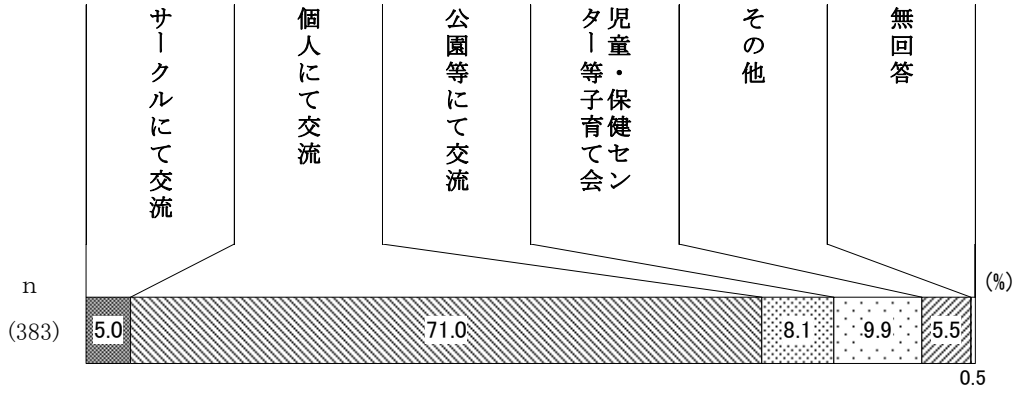


問８で「いる」と回答した方へ

**問８－１　友達とはどのように交流していますか。**

近所に育児について話し合える友達がいる人の交流としては、「個人にて交流」が71.0％と最も多い。

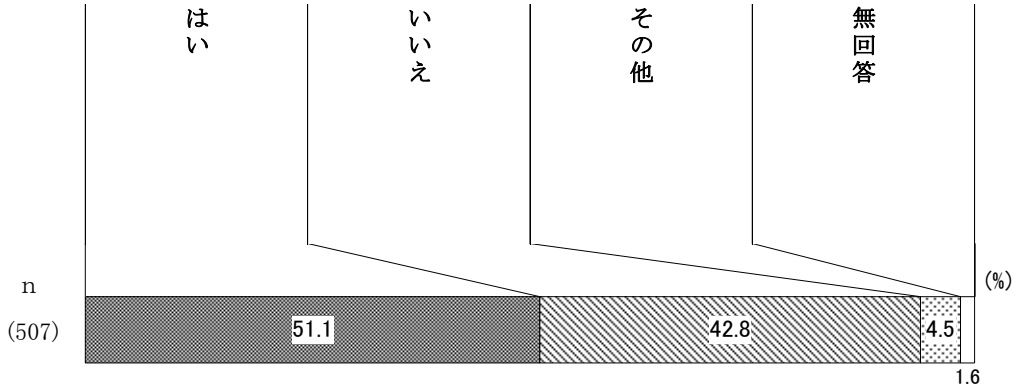
**〈 友達との交流形態 〉**




**問８－２　新たな育児サークル等があったら参加を希望しますか。**

近所に育児について話し合える友達が「いる」人のうち、新たな育児サークル等への参加について、「はい」は51.1％、「いいえ」は42.8％となっている。

**〈 新たな育児サークル等の参加希望 〉**

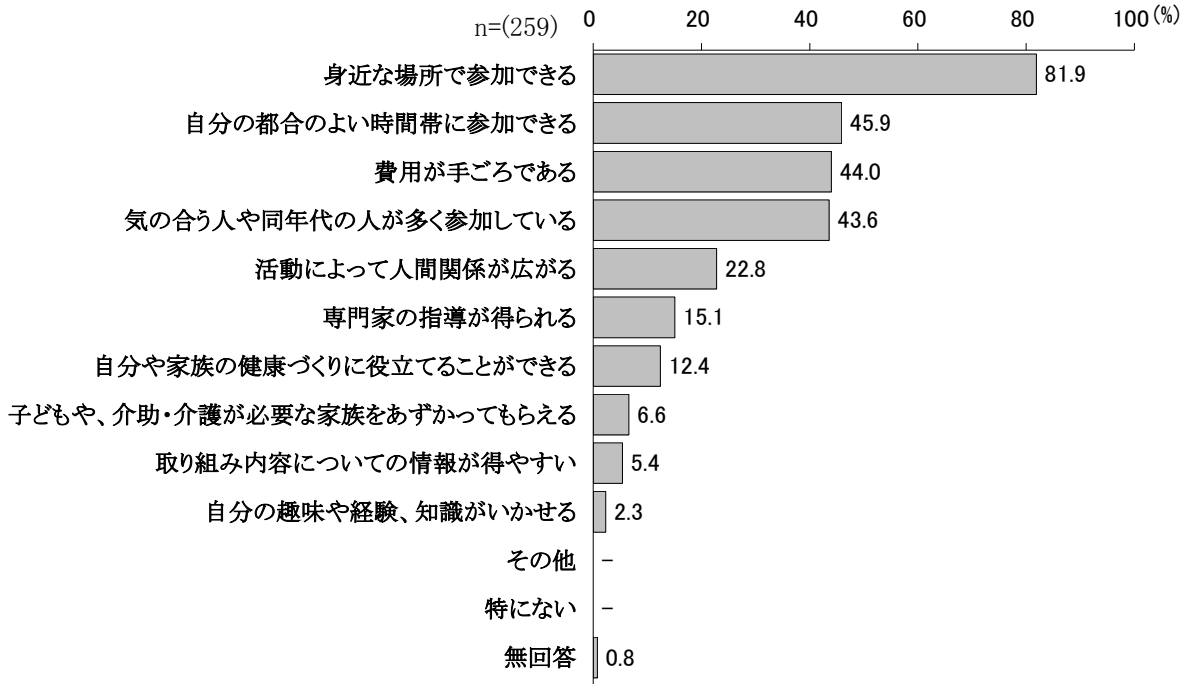


問８－２で「はい」と回答した方へ

**問８－３　あなたが育児サークル等に参加するには、どのような条件が必要だと思いますか。**
**（○は３つまで）**

近所に育児について話し合える友達がおり、新たな育児サークル等への参加意向もある人に、参加のための必要な条件を聞くと、「身近な場所で参加できる」が81.9％で最も高く、以下「自分の都合のよい時間帯に参加できる」（45.9％）「費用が手ごろである」（44.0％）「気の合う人や同年代の人が多く参加している」（43.6％）の順で続いている。

**〈 育児サークル等に参加するための必要条件 〉**

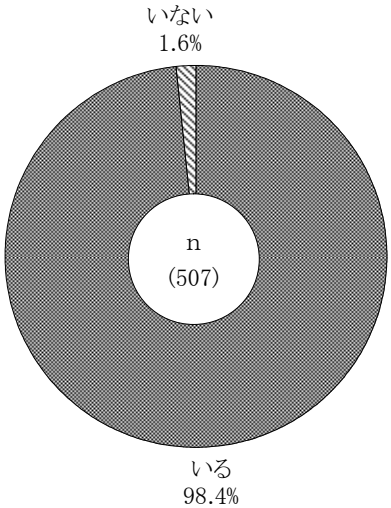



## （８）育児についての相談相手

問９　育児について相談できる人はいますか。

育児についての相談相手が「いる」が98.4％を占めている。

**〈 育児についての相談相手の有無 〉**

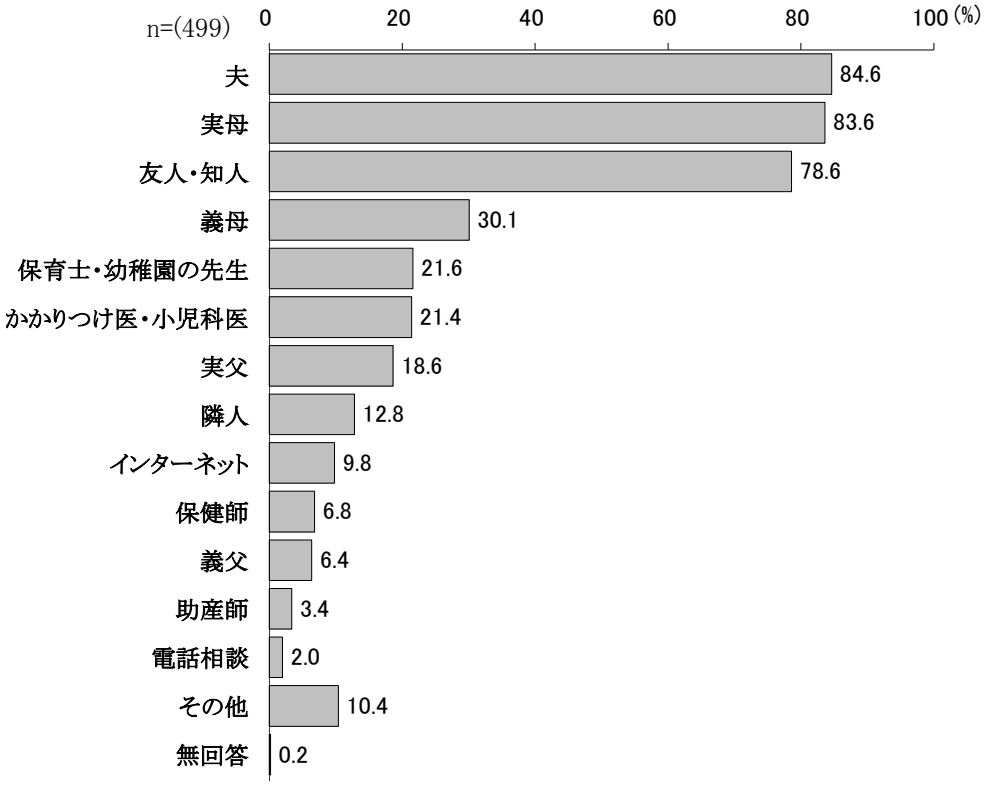


問９で「いる」と答えた方へ

問９－１　それは誰ですか。（複数回答可）

育児の相談相手としては、「夫」（84.6%）、「実母」（83.6%）、「友人・知人」（78.6%）が際立って高くなっている。

〈 育児の相談相手 〉

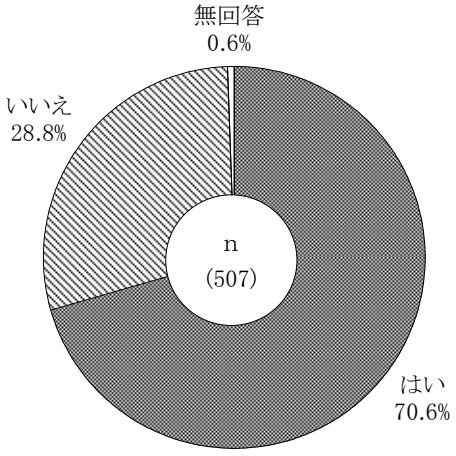



## （９）育児の不安

問10　お子さんを育ててきた中で育児の不安はありましたか。

育児中の不安については、「はい」が70.6%、「いいえ」が28.8%となっている。

〈 育児中の不安の有無 〉

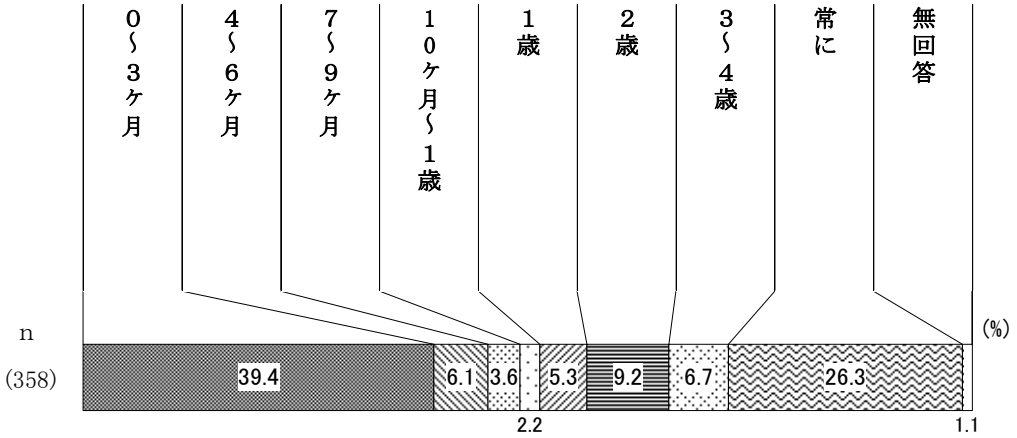


**問10で「はい」と答えた方へ**

**問10－１　特に不安を感じたお子さんの年齢はありましたか。**

育児中特に不安を感じた子どもの年齢としては、「０～３ヶ月」が39.4％で最も高く、次いで「常に」（26.3％）となっている。

**〈 特に不安を感じた子どもの年齢 〉**



## （10）保護者の気持ち

**問11　今のあなたの気持ちに一番あてはまるものに○をつけてください。**

〈子どもがかわいいと感じる〉については、「あてはまる」が93.5％を占めている。

〈子育てに自信が持てないと感じる〉については、「あてはまる」が7.3％、「ややあてはまる」が39.4％となっている。

〈ふだんの生活の中でイライラすることが多い〉については、あてはまる」が17.8％、「ややあてはまる」が43.0％となっている。

〈急にわけもなく泣きたくなることがある〉については、「あてはまる」3.9％、「ややあてはまる」11.8％となっている。

〈眠れないことがある〉については、「あてはまる」5.1％、「ややあてはまる」16.6％となっている。

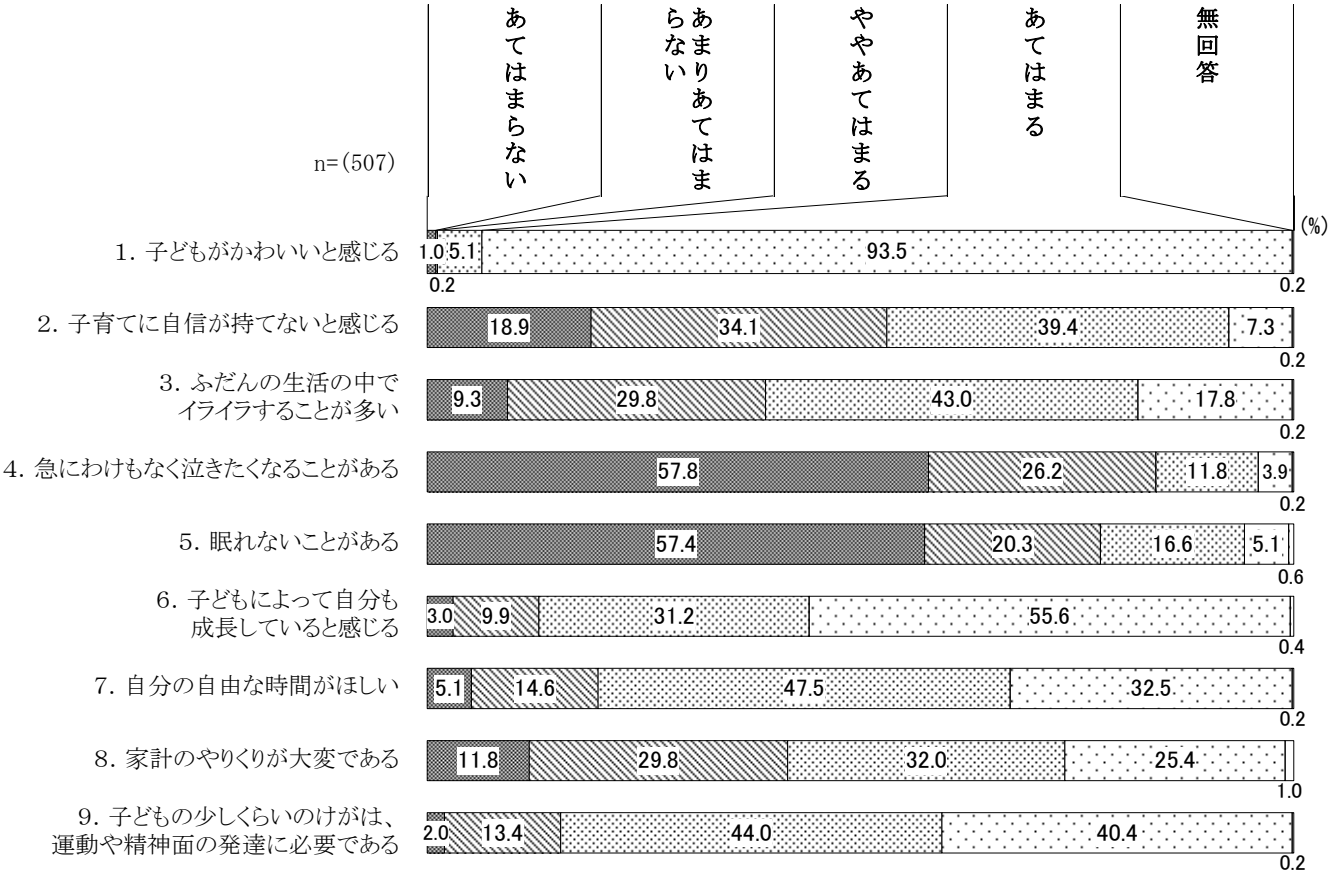
〈子どもによって自分も成長していると感じる〉については、「あてはまる」が55.6％、「ややあてはまる」が31.2％となっている。

〈自分の自由な時間がほしい〉については、「あてはまる」が32.5％、「ややあてはまる」が47.5％となっている。

〈家計のやりくりが大変である〉については、「あてはまる」が25.4％、「ややあてはまる」が32.0％となっている。

〈子どもの少しくらいのけがは、運動や精神面の発達に必要である〉については、「あてはまる」が40.4％、「ややあてはまる」が44.0％となっている。

### 〈 保護者の現在の気持ち 〉



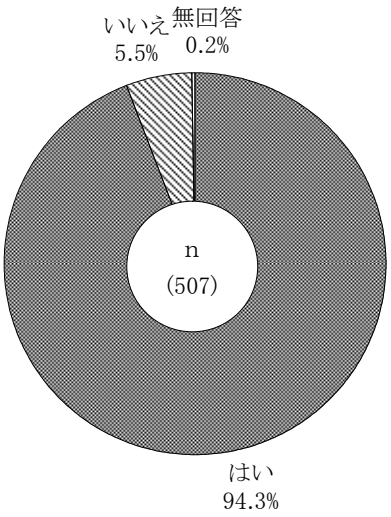
# ７．すべての子の健康管理

## （１）かかりつけ医

**問１　小児科のかかりつけ医を持っていますか。**

小児科のかかりつけ医がいるかについては、「はい」が94.3%、「いいえ」が5.5%となっている。

〈 小児科のかかりつけ医の有無 〉

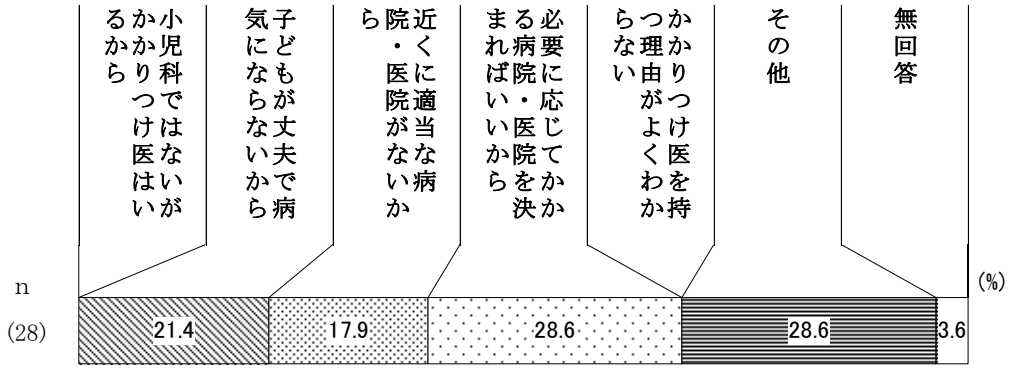



**<u>問１で「いいえ」と答えた方へ</u>**

**問１－１　かかりつけ医を持っていない理由で最もあてはまるものは何ですか。**

小児科のかかりつけ医のいない理由としては、「必要に応じてかかる病院・医院を決まればいいから」が28.6%で最も高く、次いで「子どもが丈夫で病気にならないから」（21.4%）となっている。

〈 かかりつけ医を持っていない理由 〉

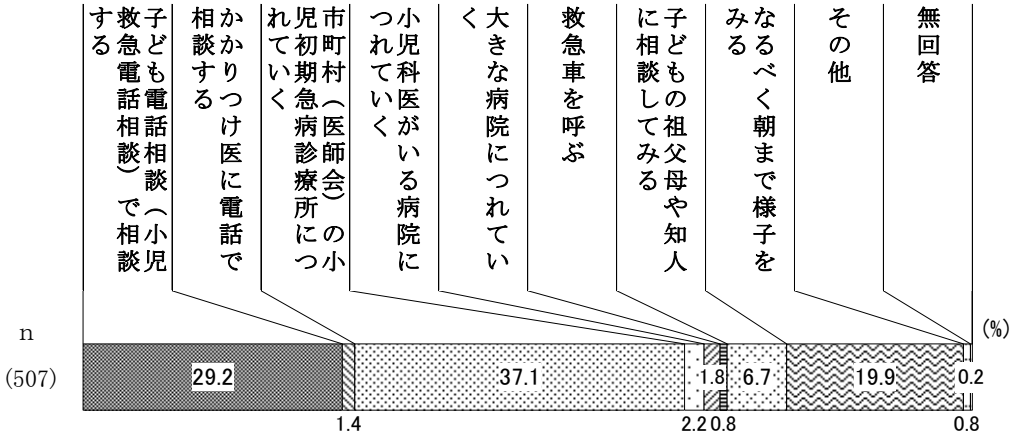


## （２）夜間、子どもの具合が悪くなったときの対応

**問２　夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうしますか。**

夜間、子どもの具合が悪くなったときの対応としては、「市町村（医師会）の小児初期急病診療所につれていく」が37.1％で最も高く、以下「子ども電話相談（小児救急電話相談）で相談する」（29.2％）、「なるべく朝まで様子をみる」（19.9％）の順で続いている。

〈 夜間、子どもの具合が悪くなったときの対応 〉

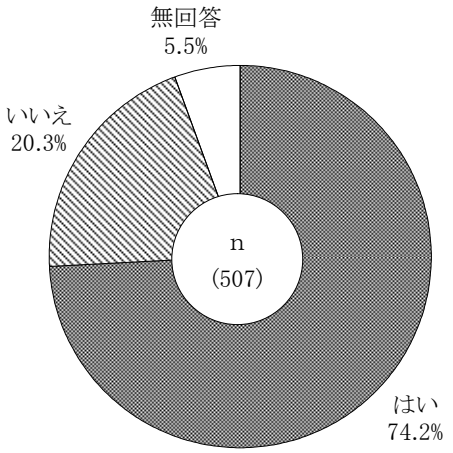



## （３）幼児健診

**問３　幼児健診（１歳６か月児健診・３歳児健診）は受けましたか**

幼児健診（１歳６か月児健診・３歳児健診）を受けたかという質問については、「はい」が74.2％、「いいえ」が20.3％となっている。

〈 幼児健診の受診 〉

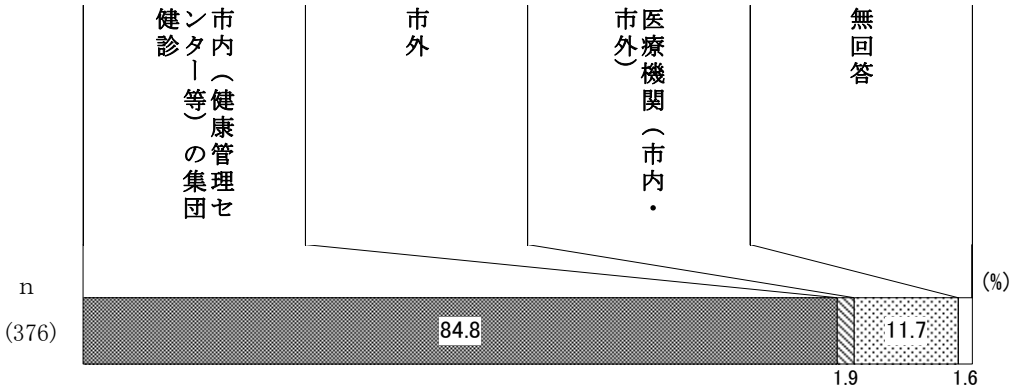


問３で「はい」と回答された方へ

**問３－１　これまでに幼児健診は主にどこで受けましたか。**

幼児健診の主な受診場所としては、「市内（健康管理センター等）の集団健診」が84.8%を占めている。

**〈 幼児健診の受診場所 〉**

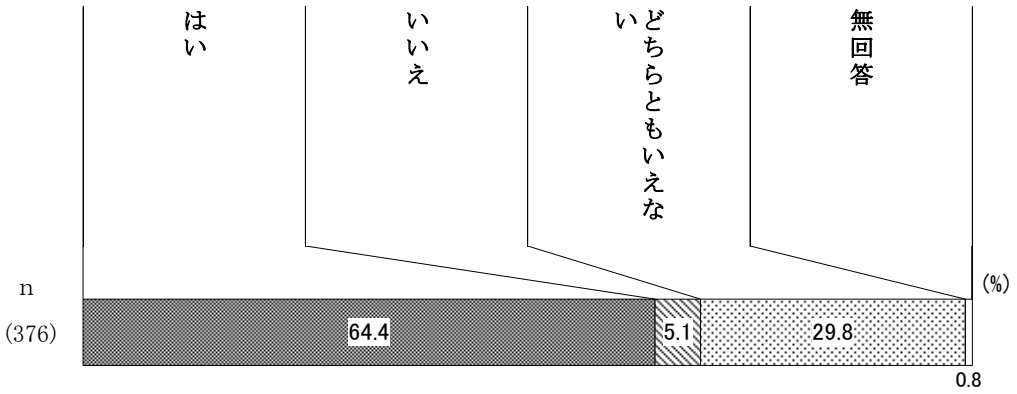



問３で「はい」と回答された方へ

**問３－２　健診を受けた感想は満足できるものでしたか。**

幼児健診についての満足感については、「はい」が64.4%、「いいえ」が5.1%となっている。

**〈 幼児健診の満足度 〉**

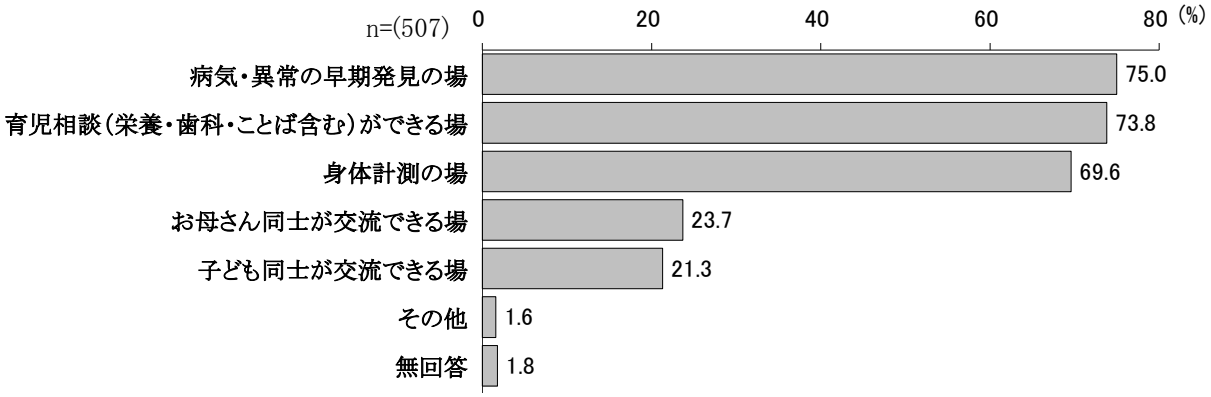


### （４）乳幼児健診

**問４　乳幼児健診に期待することは何ですか。（複数回答可）**

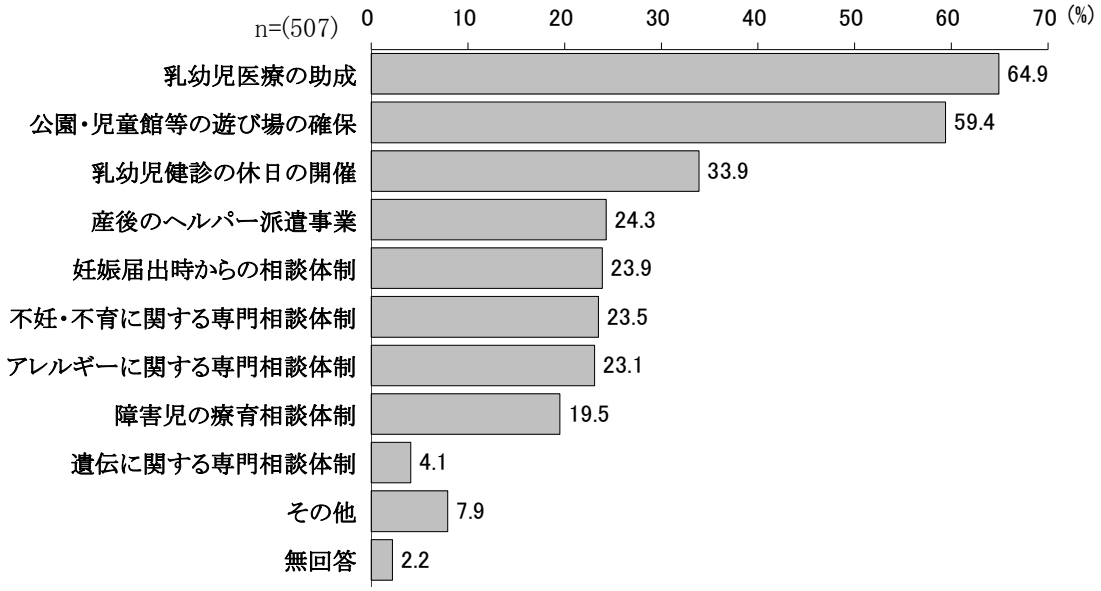
乳幼児健診に期待することとしては、「病気・異常の早期発見の場」（75.0％）、「育児相談（栄養・歯科・ことば含む）ができる場」（73.8％）、「身体計測の場」（69.6％）の３項目が、特に高くなっている。

〈 乳幼児健診に期待すること 〉




### （５）今後

**問５　21世紀の佐倉市の親と子が健やかに生活できるようにするために、どこに力を入れていくといいと思いますか。（○は４つまで）**

佐倉市の親と子が健やかに生活できるようにするために必要なこととしては、「乳幼児医療の助成」が64.9％で最も高く、以下「公園・児童館等の遊び場の確保」（59.4％）「乳幼児健診の休日の開催」（33.9％）の順で続いている。

〈 佐倉市の親と子が健やかに生活できるようにするために必要なこと 〉